

玉野市立学校適正規模化計画（草案）

令和4年4月
玉野市教育委員会

第2版 R4.6.30改訂

目 次

本 編

1. 趣旨 -----	1
2. 学校規模の基準 -----	2
3. 学校規模の現状と 10 年後、20 年後の想定 -----	2
4. 通学距離の基準 -----	3
5. 小規模校のメリット・デメリット -----	4
6. 自然災害リスク -----	5
7. 草案策定に当たっての考え方 -----	6
8. 適正規模化計画（草案） -----	7

資料編

1. 児童生徒数の推移 -----	22
2. 学校別児童生徒数の推計 -----	23
3. 施設維持費 -----	27
4. 通学補助 -----	31
5. 基準財政所要額 -----	38

1. 趣旨

我が国の人口は平成 20 年をピークに減少を続けており、平成 27 年には 75 歳以上人口が 0～14 歳人口を上回るなど、少子高齢化はより顕著になってきています。

この傾向は本市においても例外ではなく、特に児童生徒数は昭和 57 年度の 11,575 人から令和 2 年度では 3,563 人と、およそ 40 年間で 1/3 以下にまで減少しています。

このように児童生徒数が減少する中、小中学校の数はピーク時の 23 校（分校含む）から 2 校減の 21 校という水準を維持しており、住民基本台帳を基にした推計によると、今後 20 年間のうちに小学校 14 校中 9 校で複式化、中学校 7 校中 5 校で 1 学年 1 学級化することが想定されています。

学校教育では、児童・生徒が集団の中で、多様な考え方に触れ、認め合い、協力し、切磋琢磨しながら児童・生徒一人ひとりが資質、能力を伸ばしていくことが重要であり、そのためには一定数以上の児童・生徒が在籍する学校規模が確保されることが必要です。

「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」（H27.1 文部科学省）によると、小規模校・大規模校それぞれにメリット・デメリットがあるとされていますが、小規模化が一定以上に進行した場合、デメリットの部分がより強調されてしまうことは想像に難くありません。

これらの状況を踏まえ、本市においては、複式学級の解消を図りつつ、今後の教育環境の変化等も考慮しながら、教育活動のより一層の活性化を目指した将来計画の策定が求められています。

他方、「玉野市学校施設の個別施設計画」（R3.3 玉野市教育委員会）では、現在本市が保有している全ての学校教育施設を維持し続けた場合、今後の 40 年間で 512 億円、1 年あたり 12.8 億円と、直近 5 年間（平均）の 2.6 倍の経費を要すると試算しています。

推計によれば、本市の人口は今後も減少傾向が続くことが想定され、現在の厳しい財政状況や人口減少に伴う税収の減少を踏まえれば、将来にわたって必要な予算を確保し続けることは非常に困難であると考えられます。

学校の適正規模化は、適切な教育環境の確保を最大の目的としていますが、適正規模化に伴う施設の統廃合は、限られた予算の中から必要な経費を必要な施設に集中的に投入することを可能とし、安全・安心で快適な学習環境の維持に繋がるものと考えます。

この「玉野市立学校適正規模化計画（草案）」は、20 年先、30 年先を見据え、市内全体で将来的な学校教育の在り方をデザインする「玉野市立学校将来計画」の策定に当たり、児童生徒数の将来推計や統合時の通学距離、統合に伴う諸経費や維持管理費の増減等について、個別具体的な議論の基礎となるデータや考え方を取りまとめるものです。

2. 学校規模の基準

(1) 学校教育法施行規則（第 41 条）

小学校の学級数は、12 学級以上 18 学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情があるときは、この限りでない。（この規定は中学校に準用する：同規則第 79 条）

(2) 義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令（第 4 条：抜粋）

法第 3 条第 1 項第 4 号の適正な規模の条件は、次に掲げるものとする。

- 1 学級数が、小学校及び中学校にあってはおおむね 12 学級から 18 学級まで、義務教育学校にあってはおおむね 18 学級から 27 学級までであること。

(3) 公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引（H27.1 文部科学省）

（望ましい学級数の考え方）

小学校 まず複式学級を解消するためには少なくとも 1 学年 1 学級以上（全校 6 学級以上）であることが必要となります。また、全学年でクラス替えを可能としたり、学習活動の特質に応じて学級を超えた集団を編成したり、同学年に複数教員を配置するためには 1 学年 2 学級以上（全校 12 学級以上）あることが望ましいものと考えられます。

中学校 全学年でクラス替えを可能としたり、学級を超えた集団編成を可能としたり、同学年に複数教員を配置するためには、少なくとも 1 学年 2 学級以上（6 学級以上）が必要となります。また、免許外指導をなくしたり、全ての授業で教科担任による学習指導を行ったりするためには、少なくとも 9 学級以上を確保することが望ましいものと考えられます。

3. 学校規模の現状と 10 年後、20 年後の想定

※ 児童生徒数に対する本来の学級数（加配等による学級増は考慮しない。特学は含めない）

	規模	学級数	令和 3 年度	令和 13 年度（想定）	令和 23 年度（想定）
小学校	小規模	～ 5 （複式）	後閑、鉾立	日比、二日比 山田、後閑、鉾立	9 校
		6	10 校	7 校	築港、宇野、八浜
		7～11	－	－	－
	適正規模	12～18	田井	田井	田井、荘内
	大規模	19～30	荘内	荘内	－
中学校	小規模	3	山田、東児	山田、東児	5 校
		4～11	5 校	5 校	宇野、荘内

4. 通学距離の基準

(1) 義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令（第4条：抜粋）

法第3条第1項第4号の適正な規模の条件は、次に掲げるものとする。

2 通学距離が、小学校にあってはおおむね4キロメートル以内、中学校及び義務教育学校にあってはおおむね6キロメートル以内であること。

(2) 公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引（H27.1 文部科学省）

（通学距離による考え方）

国では、公立小・中学校の通学距離について、小学校でおおむね4 km以内、中学校ではおおむね6 km以内という基準を、公立小・中学校の施設費の国庫負担対象となる学校統合の条件として定めていることから、通学条件を通学距離によって捉えることが一般的となっています。（中略）これらを踏まえれば、徒歩や自転車による通学距離としては、小学校で4 km以内、中学校で6 km以内という基準はおおよその目安として引き続き妥当であると考えられます。

（通学時間による考え方）

適切な交通手段が確保でき、かつ遠距離通学や長時間通学によるデメリットを一定程度解消できる見通しが立つということを前提として、通学時間について、「おおむね1時間以内」を一応の目安とした上で、各市町村において、地域の実情や児童生徒の実態に応じて1時間以上や1時間以内に設定することの適否も含めた判断を行うことが適当であると考えられます。

5. 小規模校のメリット・デメリット

公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引（H27.1 文部科学省）

《メリット》

- ① 一人一人の学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握でき、補充指導や個別指導を含めたきめ細かな指導が行いやすい。
- ② 意見や感想を発表できる機会が多くなる。
- ③ 様々な活動において、一人一人がリーダーを務める機会が多くなる。
- ④ 複式学級においては、教師が複数の学年間を行き来する間、児童生徒が相互に学び合う活動を充実させることができる。
- ⑤ 運動場や体育館、特別教室などが余裕をもって使える。
- ⑥ 教材・教具などを一人一人に行き渡らせやすい。例えば、I C T機器や高価な機材でも比較的少ない支出で全員分の整備が可能である。
- ⑦ 異年齢の学習活動を組みやすい、体験的な学習や校外学習を機動的に行うことができる。
- ⑧ 地域の協力が得られやすいため、郷土の教育資源を最大限に生かした教育活動が展開しやすい。
- ⑨ 児童生徒の家庭の状況、地域の教育環境などが把握しやすいため、保護者や地域と連携した効果的な生徒指導ができる。

《デメリット》

- ① 集団の中で自己主張をしたり、他者を尊重したりする経験を積みにくく、社会性やコミュニケーション能力が身につけにくい。
- ② 児童生徒の人間関係や相互の評価が固定化しやすい。
- ③ 協働的な学びの実現が困難となる。
- ④ 教員それぞれの専門性を生かした教育を受けられない可能性がある。
- ⑤ 切磋琢磨する環境の中で意欲や成長が引き出されにくい。
- ⑥ 教員への依存心が強まる可能性がある。
- ⑦ 進学等の際に大きな集団への適応に困難を来す可能性がある。
- ⑧ 多様な物の見方や考え方、表現の仕方に触れることが難しい。
- ⑨ 多様な活躍の機会がなく、多面的な評価の中で個性を伸ばすことが難しい。

6. 自然災害リスク

	リスク			
	急傾斜（※1）	土石流（※1）	内水（※2）	津波（※3）
田井小				
築港小	体 一部	校体 全部		
宇野小	校 一部			
玉小	校 一部			
玉原小				
日比小		校体 全部		
二日比小				1.0m～2.0m
山田小				
後閑小				
荘内小				
八浜小		校体 全部		
大崎小				1.0m～2.0m
鉾立小		校体 全部		
胸上小				0.3m～1.0m

	急傾斜	土石流	内水	津波
宇野中				0.3m～1.0m
玉中	校体 全部	校体 全部		
日比中		校体 全部		
山田中				～0.3m
荘内中				
八浜中			50cm 以上	1.0m～2.0m
東児中	校 全部			

校：校舎

体：体育館

※1 玉野市地域防災ハザードマップ（土砂災害版）（H26.7 玉野市）

※2 玉野市内水ハザードマップ（H26.4 玉野市）

※3 玉野市地域防災ハザードマップ（津波版）（H26.7 玉野市）

7. 草案策定に当たっての考え方

(1) 目的（再掲）

「玉野市立学校将来計画」の策定に当たり、児童生徒数の将来推計や統合時の通学距離、統合に伴う諸経費や維持管理費の増減等についてとりまとめ、個別具体的な議論の基礎とする。

(2) 児童生徒数の推計

- ① 平成 28 年および令和 3 年の住民基本台帳（4 月 1 日現在）に記載されている人口を元に、コーホート変化率法により、現在の小学校区ごとに推計した
- ② コーホート変化率法は 5 歳ごとの合計人数を 5 年おきに推計する手法であるため、1 歳ごとの人数や中間年の人数は、変化がなだらかになるように傾斜配分した

(3) 学校規模

- ① 統合後の規模は、小学校、中学校とも 12～18 学級（※1）の達成を目標とする
- ② 小学校は複式学級（※2）の解消、中学校は 1 学年 2 学級以上を最低限度の目標とする
- ③ 統合後 20 年間は②の状況を維持できることを目標とする
- ④ 上記①～③を基本とし、複数の統合パターンをシミュレートする

※1：1 学級の人数は、小学校 35 人、中学校 40 人を上限として試算する

※2：2 学年の合計人数が、小学校 16 人（第 1 学年を含む場合は 8 人）、中学校では 8 人以下

(4) 通学

- ① 小学校は徒歩、中学校は徒歩又は自転車による通学を原則とする
- ② 通学距離は小学校 4km 以内、中学校 6km 以内を基準とする
- ③ 通学距離が基準を超えるときは、スクールバスの導入や公共交通の使用を想定する

(5) 統合時の存続校

- ① 児童生徒数の増分を受け入れ可能な学校を存続校とする
- ② 通学距離をより短くできる学校を存続校とする
- ③ 対象となる児童生徒数の多い学校を存続校とする
- ④ 校舎の築年数がより新しい学校を存続校とする
- ⑤ 自然災害のリスクがより少ない学校を存続校とする
- ⑥ 上記①～⑤を総合的に勘案し決定する

(6) 財政的な評価

- ① シミュレートした各パターンについて、交付税、維持管理費、スクールバスの運行等にかかる経費等の増減を評価する

8. 適正規模化計画（草案）

（1）各プランについて

次のコンセプトにより、5つのプランを作成する。

存続校は「草案策定に当たっての考え方（5）統合時の存続校」に基づく。

プランA：当面の複式学級の解消（小学校）を目的とする

プランB：通学距離が概ね4km以内（小学校）、6km以内（中学校）となる範囲で最大限集約する

プランC：当面の1学年2クラス達成（小学校・中学校）を目指す

プランD：将来にわたっての1学年2クラス達成（中学校）を目指す

プランE：地域性を考慮しつつ、最大限集約する

（2）統合年度について

本草案では、統合後の学校規模の把握を目的に、原則として受け入れ校のキャパシティに収まる児童生徒数になった時点における、統合後の児童生徒数等を示している。

表中の統合年度は学校の規模感を把握するためのものであり、今後の議論に影響を与えるものではない。

■ 現状（小学校：14 中学校：7）

- ・ R3 年度に後閑小学校が完全複式学級化
- ・ 将来的に多くの学校で複式学級の発生が予測される

今後複式学級の発生が予測される学校と年度

（H29：後閑小）

R 6：鉾立小

R 9：山田小

R11：二日比小

R13：日比小

R14：大崎小

R17：玉原小

R19：玉小、胸上小



	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28
田井小	352	368	375	386	381	359	340	322	297	288	272	269	272	267	262	258	246	245	242	238	235	230	228	222	218	213
築港小	105	112	108	103	112	110	110	111	112	111	103	102	100	96	92	89	95	90	88	85	82	86	82	81	80	78
宇野小	183	175	184	171	154	143	128	123	104	104	104	106	106	101	96	92	92	89	84	79	74	73	70	66	62	59
玉小	86	81	84	86	88	89	87	84	77	72	64	56	55	54	53	51	47	45	44	43	41	38	37	35	34	33
玉原小	126	119	110	109	103	93	82	71	65	60	57	57	58	56	54	52	48	46	44	42	40	36	34	32	30	28
日比小	110	105	98	96	83	80	68	60	57	54	51	45	42	42	41	39	33	31	30	30	29	25	23	22	21	20
二日比小	99	102	103	101	97	100	90	78	71	62	61	44	46	45	43	41	37	35	34	33	32	26	23	22	21	20
荘内小	772	789	763	722	712	700	650	610	612	621	599	614	627	615	603	590	592	586	572	558	544	542	534	520	506	493
大崎小	95	90	90	86	80	74	69	62	59	58	52	45	45	44	43	43	42	42	42	42	41	37	35	34	33	32
八浜小	169	175	170	166	156	162	150	143	145	140	139	136	143	139	136	132	134	131	127	123	119	121	118	114	110	106
山田小	75	72	68	70	68	64	55	52	48	44	45	44	45	43	41	39	38	35	34	33	31	26	24	24	24	24
後閑小	30	23	25	27	24	25	25	23	21	19	21	16	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
鉾立小	69	59	52	44	43	36	27	25	26	26	25	23	24	24	24	24	21	19	17	15	14	13	12	12	12	12
胸上小	81	86	87	87	84	77	73	67	62	59	58	57	55	54	53	52	46	46	46	45	44	42	42	42	42	42
	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	4	4	4	4	4	4	4	4	4

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28
宇野中	323	288	291	298	322	332	342	333	335	318	314	277	260	244	241	249	237	231	227	224	221	213	208	205	203	200
玉中	134	131	135	114	101	96	98	99	98	97	92	84	72	63	58	60	51	51	50	48	46	40	39	39	38	37
日比中	155	149	127	107	106	103	102	95	87	75	65	65	63	57	51	46	46	44	40	37	34	33	33	30	27	24
荘内中	383	384	381	392	393	376	380	396	387	342	316	313	308	325	359	403	398	388	384	380	376	370	360	360	360	359
八浜中	134	135	132	130	137	140	134	128	120	118	108	116	101	97	89	98	98	96	94	92	90	90	87	84	82	80
山田中	65	68	69	58	45	40	47	50	53	50	42	36	30	32	31	30	30	29	27	25	24	24	23	21	19	18
東児中	78	82	75	76	69	72	74	76	67	57	51	46	43	40	40	39	39	38	36	34	33	33	31	29	27	27
	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

■プランA 当面の複式学級の解消を目的とする

(小学校：9 (-5) 中学校：7 (±0))

	統合案		根拠	備考
1	玉小	← 玉小 玉原小	校舎の築年数	
2	日比小	← 日比小 二日比小	校舎の築年数、津波リスク	R24 頃に再度複式化
3	山田小	← 山田小 後閑小	対象となる児童数	R17 頃に再度複式化
4	八浜小	← 八浜小 大崎小	校舎（プール）の築年数、津波リスク、対象となる児童数	
5	胸上小	← 鉾立小 胸上小	キャパシティ、通級拠点校、対象となる児童数	

《課題》

当面は複式学級を解消できるが、2校において再度の複式化が想定される。



プランA

数字上段：児童生徒数 数字下段：学級数

■：1学年1学級

■：複式学級

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28
田井小	352 12	368 12	375 13	386 13	381 13	359 13	340 13	322 13	297 12	288 12	272 12	269 12	272 12	267 12	262 12	258 12	246 12	245 12	242 12	238 12	235 12	230 12	228 12	222 11	218 10	213 9
築港小	105 6	112 6	108 6	103 6	112 6	110 6	110 6	111 6	112 6	111 6	103 6	102 6	100 6	96 6	92 6	89 6	95 6	90 6	88 6	85 6	82 6	86 6	82 6	81 6	80 6	78 6
宇野小	183 6	175 6	184 7	171 7	154 7	143 7	128 7	123 7	104 7	104 6	104 6	106 6	106 6	101 6	96 6	92 6	92 6	89 6	84 6	79 6	74 6	73 6	70 6	66 6	62 6	59 6
玉小	86 6	81 6	84 6	86 6	88 6	89 6	87 6	84 6	77 6	72 6	64 6	56 6	55 6	54 6	107 6	103 6	95 6	91 6	88 6	85 6	81 6	74 6	71 6	67 6	64 6	61 6
玉原小	126 6	119 6	110 6	109 6	103 6	93 6	82 6	71 6	65 6	60 6	57 6	57 6	58 6	56 6												
日比小	110 6	105 6	98 6	96 6	83 6	80 6	68 6	60 6	128 6	116 6	112 6	89 6	88 6	87 6	84 6	80 6	70 6	66 6	64 6	63 6	61 6	51 6	46 6	44 6	42 6	40 6
二日比小	99 6	102 6	103 6	101 6	97 6	100 6	90 6	78 6																		
荘内小	772 24	789 24	763 23	722 22	712 22	700 21	650 20	610 20	612 20	621 20	599 19	614 21	627 21	615 20	603 19	590 18	592 18	586 18	572 18	558 18	544 18	542 18	534 18	520 18	506 18	493 18
大崎小	95 6	90 6	90 6	86 6	80 6	74 6	69 6	62 6	59 6	58 6	52 6															
八浜小	169 6	175 6	170 6	166 6	156 6	162 6	150 6	143 6	145 6	140 6	139 6	181 6	188 6	183 6	179 6	175 6	176 6	173 6	169 6	165 6	160 6	158 6	153 6	148 6	143 6	138 6
山田小	75 6	72 6	68 6	97 6	92 6	89 6	80 6	75 6	69 6	63 6	66 6	60 6	57 6	55 6	53 6	51 6	50 6	47 6	46 6	45 6	43 6	38 6	36 6	36 6	36 6	36 6
後閑小	30 3	23 4	25 4																							
鉾立小	69 6	59 6	52 6																							
胸上小	81 6	86 6	87 6	131 6	127 6	113 6	100 6	92 6	88 6	85 6	83 6	80 6	79 6	78 6	77 6	76 6	67 6	65 6	63 6	60 6	58 6	55 6	54 6	54 6	54 6	54 6

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28
宇野中	323 10	288 9	291 9	298 9	322 9	332 10	342 10	333 10	335 10	318 10	314 10	277 9	260 8	244 8	241 8	249 9	237 7	231 6	227 6	224 6	221 6	213 6	208 6	205 6	203 6	200 6
玉中	134 5	131 5	135 4	114 3	101 3	96 3	98 3	99 3	98 3	97 3	92 3	84 3	72 3	63 3	58 3	60 3	51 3	51 3	50 3	48 3	46 3	40 3	39 3	39 3	38 3	37 3
日比中	155 6	149 5	127 4	107 3	106 3	103 3	102 3	95 3	87 3	75 3	65 3	65 3	63 3	57 3	51 3	46 3	46 3	44 3	40 3	37 3	34 3	33 3	33 3	30 3	27 3	24 3
荘内中	383 12	384 12	381 12	392 12	393 12	376 11	380 11	396 11	387 11	342 10	316 10	313 10	308 10	325 10	359 11	403 12	398 12	388 12	384 12	380 12	376 12	370 11	360 10	360 10	360 10	359 10
八浜中	134 6	135 5	132 5	130 5	137 5	140 6	134 5	128 5	120 4	118 4	108 3	116 4	101 4	97 4	89 3	98 3	98 3	96 3	94 3	92 3	90 3	90 3	87 3	84 3	82 3	80 3
山田中	65 3	68 3	69 3	58 3	45 3	40 3	47 3	50 3	53 3	50 3	42 3	36 3	30 3	32 3	31 3	30 3	30 3	29 3	27 3	25 3	24 3	24 3	23 3	21 3	19 3	18 3
東見中	78 3	82 3	75 3	76 3	69 3	72 3	74 3	76 3	67 3	57 3	51 3	46 3	43 3	40 3	40 3	39 3	39 3	38 3	36 3	34 3	33 3	33 3	31 3	31 3	29 3	27 3

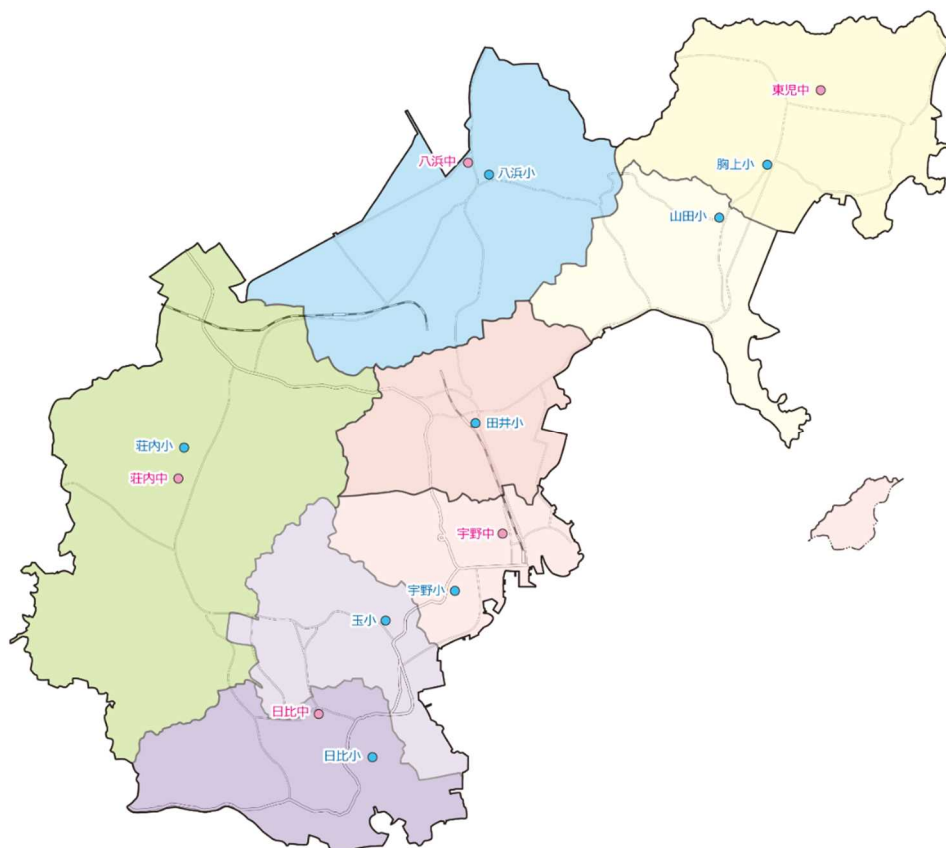
■プランB 通学距離が概ね4km以内（小学校）、6km以内（中学校）となる範囲で
最大限集約する

（小学校：8（-6） 中学校：5（-2））

	統合案	根拠	備考
1	宇野小 ← 築港小 宇野小	キャパシティ、通級拠点校	
2	玉小 ← 玉小 玉原小	校舎の築年数	
3	日比小 ← 日比小 二日比小	校舎の築年数、津波リスク	R24 頃に再度複式化
4	山田小 ← 山田小 後閑小	対象となる児童数	R17 頃に再度複式化
5	八浜小 ← 八浜小 大崎小	校舎（プール）の築年数、津波リスク、対象となる児童数	
6	胸上小 ← 銚立小 胸上小	キャパシティ、通級拠点校、対象となる児童数	
7	日比中 ← 玉中 日比中	校舎の築年数	
8	東児中 ← 山田中 東児中	対象となる生徒数	

《課題》

プランAの課題であった、2校が再度複式化する問題は解消できていない。



プランB

数字上段：児童生徒数 数字下段：学級数

■：1学年1学級

■：複式学級

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28
田井小	352 12	368 12	375 13	386 13	381 13	359 13	340 13	322 13	297 12	288 12	272 12	269 12	272 12	267 12	262 12	258 12	246 12	245 12	242 12	238 12	235 12	230 12	228 12	222 11	218 10	213 9
築港小	105 6	112 6	108 6	103 6	112 6	110 6	110 6	111 6	112 6	111 6	103 6	102 6	100 6	96 6												
宇野小	183 6	175 6	184 7	171 7	154 7	143 7	128 7	123 7	104 7	104 6	104 6	106 6	106 6	101 6	188 6	181 6	187 6	179 6	172 6	164 6	156 6	159 6	152 6	147 6	142 6	137 6
玉小	86 6	81 6	84 6	86 6	88 6	89 6	87 6	84 6	77 6	72 6	64 6	56 6	55 6	54 6	107 6	103 6	95 6	91 6	88 6	85 6	81 6	74 6	71 6	67 6	64 6	61 6
玉原小	126 6	119 6	110 6	109 6	103 6	93 6	82 6	71 6	65 6	60 6	57 6	57 6	58 6	56 6												
日比小	110 6	105 6	98 6	96 6	83 6	80 6	68 6	60 6	128 6	116 6	112 6	89 6	88 6	87 6	84 6	80 6	70 6	66 6	64 6	63 6	61 6	51 4	46 4	44 4	42 4	40 4
二日比小	99 6	102 6	103 6	101 6	97 6	100 6	90 6	78 6																		
荘内小	772 24	789 24	763 23	722 22	712 22	700 21	650 20	610 20	612 20	621 20	599 19	614 21	627 21	615 20	603 19	590 18	592 18	586 18	572 18	558 18	544 18	542 18	534 18	520 18	506 18	493 18
大崎小	95 6	90 6	90 6	86 6	80 6	74 6	69 6	62 6	59 6	58 6	52 6															
八浜小	169 6	175 6	170 6	166 6	156 6	162 6	150 6	143 6	145 6	140 6	139 6	181 6	188 6	183 6	179 6	175 6	176 6	173 6	169 6	165 6	160 6	158 6	153 6	148 6	143 6	138 6
山田小	75 6	72 6	68 6	97 6	92 6	89 6	80 6	75 6	69 6	63 6	66 6	60 6	57 6	55 6	53 5	51 5	50 4	47 4	46 4	45 4	43 4	38 4	36 4	36 4	36 4	36 4
後閑小	30 3	23 4	25 4																							
鉾立小	69 6	59 6	52 6																							
胸上小	81 6	86 6	87 6	131 6	127 6	113 6	100 6	92 6	88 6	85 6	83 6	80 6	79 6	78 6	77 6	76 6	67 6	65 6	63 6	60 6	58 6	55 6	54 6	54 6	54 6	54 6

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28
宇野中	323 10	288 9	291 9	298 9	322 9	332 10	342 10	333 10	335 10	318 10	314 10	277 9	260 8	244 8	241 8	249 9	237 7	231 6	227 6	224 6	221 6	213 6	208 6	205 6	203 6	200 6
玉中	134 5	131 5	135 5	114 4	101 3																					
日比中	155 6	149 5	127 4	107 3	106 3	199 6	200 6	194 6	185 6	172 6	157 6	149 6	135 5	120 4	109 3	106 3	97 3	95 3	90 3	85 3	80 3	73 3	72 3	69 3	65 3	61 3
荘内中	383 12	384 12	381 12	392 12	393 12	376 11	380 11	396 11	387 11	342 10	316 10	313 10	308 10	325 10	359 10	403 12	398 12	388 12	384 12	380 12	376 12	370 11	360 10	360 10	360 10	359 10
八浜中	134 6	135 5	132 5	130 5	137 5	140 6	134 5	128 5	120 4	118 4	108 3	116 4	101 4	97 4	89 3	98 3	98 3	96 3	94 3	92 3	90 3	90 3	87 3	84 3	82 3	80 3
山田中	65 3	68 3	69 3																							
東見中	78 3	82 3	75 3	134 5	114 4	112 4	121 5	126 5	120 4	107 3	93 3	82 3	73 3	72 3	71 3	69 3	69 3	67 3	63 3	59 3	57 3	57 3	56 3	52 3	48 3	45 3

■プランC 当面の1学年2クラス達成を目指す

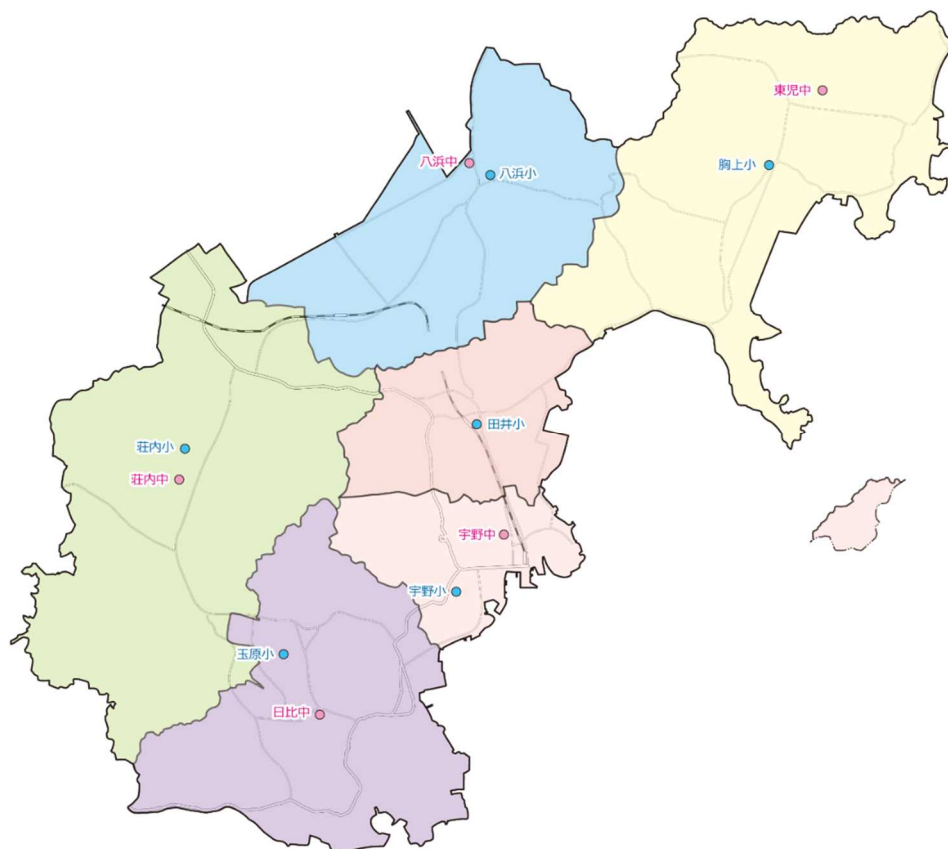
(小学校：6 (-8) 中学校：5 (-2))

	統合案	根拠	備考
1	宇野小 ← 築港小 宇野小	キャパシティ、通級拠点校	
2	玉原小 ← 玉小 玉原小 日比小 二日比小	キャパシティ	
3	八浜小 ← 八浜小 大崎小	校舎（プール）の築年数、津波リスク、対象となる児童数	
4	胸上小 ← 山田小 後閑小 鉾立小 胸上小	通学距離、キャパシティ、通級拠点校	
5	日比中 ← 玉中 日比中	校舎の築年数	
6	東児中 ← 山田中 東児中	対象となる生徒数	

《課題》

小中学校とも統合校は統合後数年で1学年1学級に戻ると思われる。

八浜中は令和17年頃からの1学年1学級化が見込まれる。



プランC

数字上段：児童生徒数 数字下段：学級数

■：1学年1学級

■：複式学級

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28
田井小	352 12	368 12	375 13	386 13	381 13	359 13	340 13	322 13	297 12	288 12	272 12	269 12	272 12	267 12	262 12	258 12	246 12	245 12	242 12	238 12	235 12	230 12	228 12	222 11	218 10	213 9
築港小	105 6	112 6	108 6	103 6	112 6	110 6																				
宇野小	183 6	175 6	184 7	171 7	154 7	143 7	238 10	234 9	216 8	215 8	207 7	208 8	206 8	197 7	188 6	181 6	187 6	179 6	172 6	164 6	156 6	159 6	152 6	147 6	142 6	137 6
玉小	86 6	81 6	84 6	86 6	88 6	89 6																				
玉原小	126 6	119 6	110 6	109 6	103 6	93 6	327 12	293 11	270 11	248 11	233 10	202 6	201 6	197 6	191 6	183 6	165 6	157 6	152 6	148 6	142 6	125 6	117 6	111 6	106 6	101 6
日比小	110 6	105 6	98 6	96 6	83 6	80 6																				
二日比小	99 6	102 6	103 6	101 6	97 6	100 6																				
荘内小	772 24	789 24	763 23	722 22	712 22	700 21	650 20	610 20	612 20	621 20	599 19	614 21	627 21	615 20	603 19	590 18	592 18	586 18	572 18	558 18	544 18	542 18	534 18	520 18	506 18	493 18
大崎小	95 6	90 6	90 6	86 6	80 6	74 6																				
八浜小	169 6	175 6	170 6	166 6	156 6	162 6	219 10	205 9	204 9	198 8	191 7	181 6	188 6	183 6	179 6	175 6	176 6	173 6	169 6	165 6	160 6	158 6	153 6	148 6	143 6	138 6
山田小	75 6	72 6	68 6																							
後閑小	30 3	23 4	25 4																							
鉾立小	69 6	59 6	52 6																							
胸上小	81 6	86 6	87 6	228 9	219 9	202 8	180 7	167 6	157 6	148 6	149 6	140 6	136 6	133 6	130 6	127 6	117 6	112 6	109 6	105 6	101 6	93 6	90 6	90 6	90 6	90 6

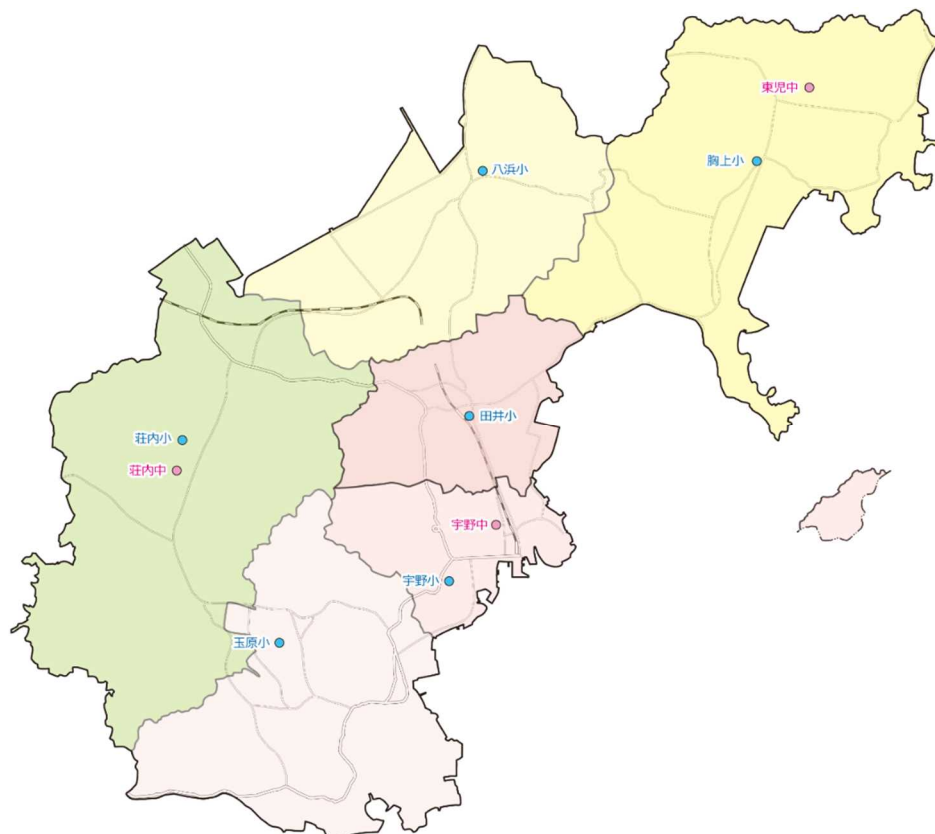
	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28
宇野中	323 10	288 9	291 9	298 9	322 9	332 10	342 10	333 10	335 10	318 10	314 10	277 9	260 8	244 8	241 8	249 9	237 7	231 6	227 6	224 6	221 6	213 6	208 6	205 6	203 6	200 6
玉中	134 5	131 5	135 5																							
日比中	155 6	149 5	127 4	221 7	207 6	199 6	200 6	194 6	185 6	172 6	157 6	149 6	135 5	120 4	109 4	106 3	97 3	95 3	90 3	85 3	80 3	73 3	72 3	69 3	65 3	61 3
荘内中	383 12	384 12	381 12	392 12	393 12	376 11	380 11	396 11	387 11	342 10	316 10	313 10	308 10	325 10	359 10	403 11	398 12	388 12	384 12	380 12	376 12	370 11	360 10	360 10	360 10	359 10
八浜中	134 6	135 5	132 5	130 5	137 5	140 6	134 5	128 5	120 4	118 4	108 3	116 4	101 4	97 4	89 3	98 3	98 3	96 3	94 3	92 3	90 3	90 3	87 3	84 3	82 3	80 3
山田中	65 3	68 3	69 3																							
東見中	78 3	82 3	75 3	134 5	114 4	112 4	121 5	126 5	120 4	107 3	93 3	82 3	73 3	72 3	71 3	69 3	69 3	67 3	63 3	59 3	57 3	57 3	56 3	52 3	48 3	45 3

■プランD 将来にわたっての1学年2クラス達成（中学校）を目指す
（小学校：6（-8） 中学校：3（-4））

	統合案	根拠	備考
1	宇野小 ← 築港小 宇野小	キャパシティ、通級拠点校	
2	玉原小 ← 玉小 玉原小 日比小 二日比小	キャパシティ	
3	八浜小 ← 八浜小 大崎小	校舎（プール）の築年数、津波リスク、対象となる児童数	
4	胸上小 ← 山田小 後閑小 鉾立小 胸上小	通学距離、キャパシティ、通級拠点校	
5	宇野中 ← 宇野中 玉中 日比中	キャパシティ、校舎の築年数	
6	東児中 ← 山田中 八浜中 東児中	津波リスク、対象となる生徒数	

《課題》

小学校は統合後数年で1学年1学級に戻るとされる。



プランD

数字上段：児童生徒数 数字下段：学級数 ■：1学年1学級 ■：複式学級

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28
田井小	352 12	368 12	375 13	386 13	381 13	359 13	340 13	322 13	297 12	288 12	272 12	269 12	272 12	267 12	262 12	258 12	246 12	245 12	242 12	238 12	235 12	230 12	228 12	222 11	218 10	213 9
築港小	105 6	112 6	108 6	103 6	112 6	110 6																				
宇野小	183 6	175 6	184 7	171 7	154 7	143 7	238 10	234 9	216 8	215 8	207 7	208 8	206 8	197 7	188 6	181 6	187 6	179 6	172 6	164 6	156 6	159 6	152 6	147 6	142 6	137 6
玉小	86 6	81 6	84 6	86 6	88 6	89 6																				
玉原小	126 6	119 6	110 6	109 6	103 6	93 6	327 12	293 11	270 11	248 11	233 10	202 6	201 6	197 6	191 6	183 6	165 6	157 6	152 6	148 6	142 6	125 6	117 6	111 6	106 6	101 6
日比小	110 6	105 6	98 6	96 6	83 6	80 6																				
二日比小	99 6	102 6	103 6	101 6	97 6	100 6																				
荘内小	772 24	789 24	763 23	722 22	712 22	700 21	650 20	610 20	612 20	621 20	599 19	614 21	627 21	615 20	603 19	590 18	592 18	586 18	572 18	558 18	544 18	542 18	534 18	520 18	506 18	493 18
大崎小	95 6	90 6	90 6	86 6	80 6	74 6																				
八浜小	169 6	175 6	170 6	166 6	156 6	162 6	219 10	205 9	204 9	198 8	191 7	181 6	188 6	183 6	179 6	175 6	176 6	173 6	169 6	165 6	160 6	158 6	153 6	148 6	143 6	138 6
山田小	75 6	72 6	68 6																							
後閑小	30 3	23 4	25 4																							
鉾立小	69 6	59 6	52 6																							
胸上小	81 6	86 6	87 6	228 9	219 9	202 8	180 7	167 6	157 6	148 6	149 6	140 6	136 6	133 6	130 6	127 6	117 6	112 6	109 6	105 6	101 6	93 6	90 6	90 6	90 6	90 6

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28
宇野中	323	288	291	298	322	332	342	333	335	318	314	426	395	364	350	355	334	326	317	309	301	286	280	274	268	261
	10	9	9	9	9	10	10	10	10	10	10	12	11	11	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
	134	131	135	114	101	96	98	99	98	97	92															
玉中	5	5	5	4	3	3	3	3	3	3	3															
	155	149	127	107	106	103	102	95	87	75	65															
	6	5	4	3	3	3	3	3	3	3	3															
日比中	383	384	381	392	393	376	380	396	387	342	316	313	308	325	359	403	398	388	384	380	376	370	360	360	360	359
	12	12	12	12	12	11	11	11	11	10	10	10	10	10	11	12	12	12	12	12	12	11	10	10	10	10
	134	135	132	130	137	140	134	128	120	118																
八浜中	6	6	5	5	5	6	5	5	4	4																
	65	68	69	58	45	40	47	50	53	50																
	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3																
山田中	78	82	75	76	69	72	74	76	67	57	201	198	174	169	160	167	167	163	157	151	147	147	143	136	130	125
	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

■プランE 地域性を考慮しつつ、最大限集約する

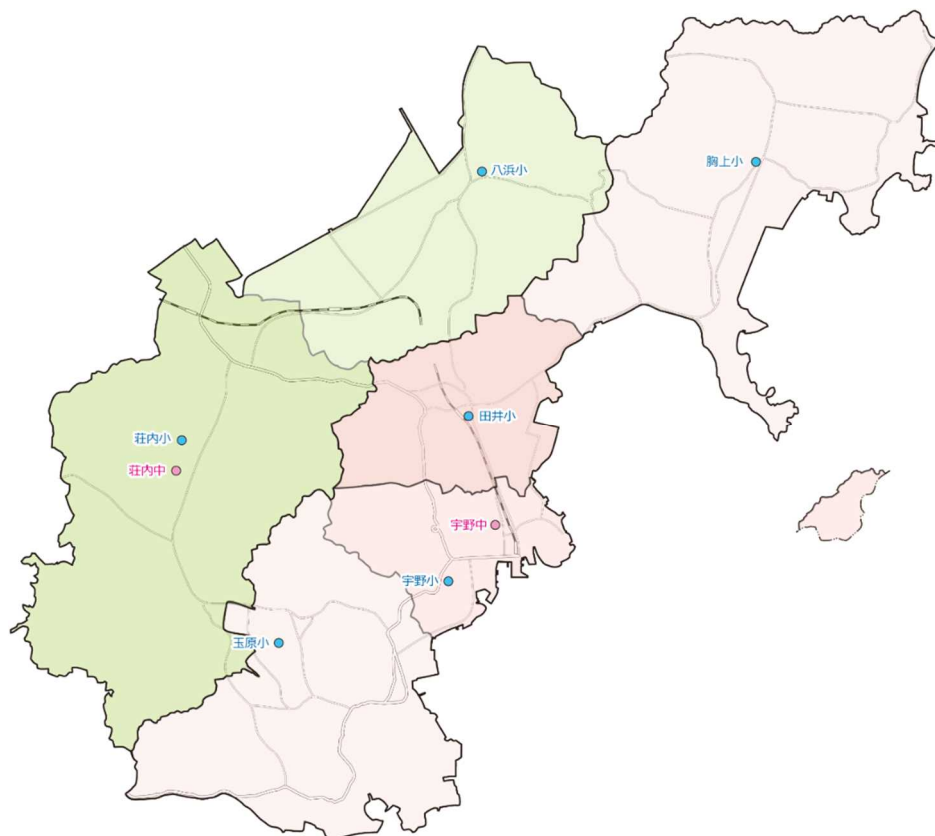
将来にわたっての1学年2クラス達成（中学校）を目指す

（小学校：6（-8） 中学校：2（-5））

	統合案	根拠	備考
1	宇野小 ← 築港小 宇野小	キャパシティ、通級拠点校	
2	玉原小 ← 玉小 玉原小 日比小 二日比小	キャパシティ	
3	八浜小 ← 八浜小 大崎小	校舎（プール）の築年数、津波リスク、対象となる児童数	
4	胸上小 ← 山田小 後閑小 鉾立小 胸上小	通学距離、キャパシティ、通級拠点校	
5	宇野中 ← 宇野中 玉中 日比中 山田中 東児中	通学距離、校舎の築年数、津波リスク、対象となる生徒数	
6	荘内中 ← 荘内中 八浜中	対象となる生徒数	

《課題》

小学校は統合後数年で1学年1学級に戻るとされる。



プランE

数字上段：児童生徒数 数字下段：学級数 ■：1学年1学級 ■：複式学級

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28
田井小	352 12	368 12	375 13	386 13	381 13	359 13	340 13	322 13	297 12	288 12	272 12	269 12	272 12	267 12	262 12	258 12	246 12	245 12	242 12	238 12	235 12	230 12	228 12	222 11	218 10	213 9
築港小	105 6	112 6	108 6	103 6	112 6	110 6																				
宇野小	183 6	175 6	184 7	171 7	154 7	143 7	238 10	234 9	216 8	215 8	207 7	208 8	206 8	197 7	188 6	181 6	187 6	179 6	172 6	164 6	156 6	159 6	152 6	147 6	142 6	137 6
玉小	86 6	81 6	84 6	86 6	88 6	89 6																				
玉原小	126 6	119 6	110 6	109 6	103 6	93 6	327 12	293 11	270 11	248 11	233 10	202 6	201 6	197 6	191 6	183 6	165 6	157 6	152 6	148 6	142 6	125 6	117 6	111 6	106 6	101 6
日比小	110 6	105 6	98 6	96 6	83 6	80 6																				
二日比小	99 6	102 6	103 6	101 6	97 6	100 6																				
荘内小	772 24	789 24	763 23	722 22	712 22	700 21	650 20	610 20	612 20	621 20	599 19	614 21	627 21	615 20	603 19	590 18	592 18	586 18	572 18	558 18	544 18	542 18	534 18	520 18	506 18	493 18
大崎小	95 6	90 6	90 6	86 6	80 6	74 6																				
八浜小	169 6	175 6	170 6	166 6	156 6	162 6	219 10	205 9	204 9	198 8	191 7	181 6	188 6	183 6	179 6	175 6	176 6	173 6	169 6	165 6	160 6	158 6	153 6	148 6	143 6	138 6
山田小	75 6	72 6	68 6																							
後閑小	30 3	23 4	25 4																							
鉾立小	69 6	59 6	52 6																							
胸上小	81 6	86 6	87 6	228 9	219 9	202 8	180 7	167 6	157 6	148 6	149 6	140 6	136 6	133 6	130 6	127 6	117 6	112 6	109 6	105 6	101 6	93 6	90 6	90 6	90 6	90 6

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28
宇野中	323 10	288 9	291 9	298 9	322 9	332 10	342 10	333 10	335 10	318 10	314 10	508 14	468 13	436 12	421 12	424 12	403 12	393 12	380 12	368 11	358 10	343 9	336 9	326 9	316 9	306 9
玉中	134 5	131 5	135 4	114 3	101 3	96 3	98 3	99 3	98 3	97 3	92 3															
日比中	155 6	149 5	127 4	107 3	106 3	103 3	102 3	95 3	87 3	75 3	65 3															
荘内中	383 12	384 12	381 12	392 12	393 12	376 11	380 11	396 11	507 14	460 13	424 12	429 12	409 11	422 12	448 13	501 15	496 15	484 14	478 13	472 12	466 12	460 12	447 12	444 12	442 12	439 12
八浜中	134 6	135 5	132 5	130 5	137 5	140 6	134 5	128 5																		
山田中	65 3	68 3	69 3	58 3	45 3	40 3	47 3	50 3	53 3	50 3	42 3															
東児中	78 3	82 3	75 3	76 3	69 3	72 3	74 3	76 3	67 3	57 3	51 3	宇野中へ														

■プラン比較

		現状	A	B	C	D	E
学校数	小	14	9	8	6	6	6
	中	7	7	5	5	3	2
複式学級の解消		×	△	△	○	○	○
一学年 二学級以上	小	×	×	×	△	△	△
	中	×	×	△	△	○	○

○：令和 28 年度までの間達成される見込み

△：一時的に達成されるものの、令和 28 年度までに再び複式学級、一学年一学級の学校が現れる

×：達成されない

《歳出の増減要素》

	現状	A	B	C	D	E
維持費 (※1) (億円/年)	9.29	7.55	6.32	5.67	4.73	4.44
	－	-1.74	-2.97	-3.62	-4.56	-4.85
人件費 (※2) (億円/年)	1.26	0.96	0.78	0.66	0.54	0.48
	－	-0.30	-0.48	-0.60	-0.72	-0.78
通学補助 (※3) (億円/年)	0.03	0.11	0.18	0.32	0.67	0.88
	－	+0.08	+0.15	+0.29	+0.64	+0.85
増減計 (億円/年)	－	-1.96	-3.30	-3.93	-4.64	-4.78

※ 1：今後 40 年間にかかる改築、改修、修繕、光熱水費、委託料等の推計額を平均したもの

※ 2：非常勤講師、サポートスタッフ、各種支援員等を除く

※ 3：路線バス、シータク、シーバスの利用補助、スクールバスの委託にかかる経費。R9 年度に想定される児童生徒数から試算

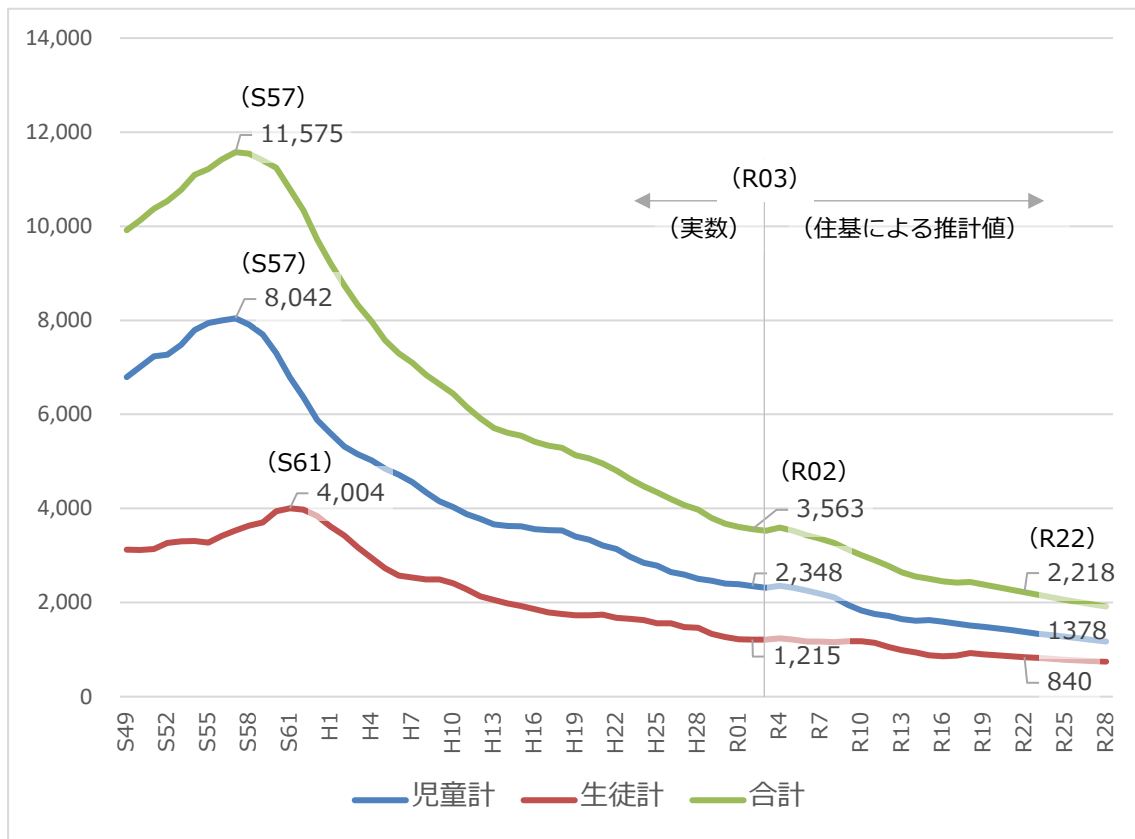
《歳入の増減要素》

	現状	A	B	C	D	E
基準財政需要額 (※4) (億円/年)	4.62	4.25	4.01	3.66	3.63	3.57
	－	-0.37	-0.61	-0.96	-1.02	-1.05

※ 4：令和 28 年度までの推計額を平均したもの。直接的な交付税の増減額ではない

資 料 編

1. 児童生徒数の推移



昭和 51 年度 玉原小 開校
平成 3 年度 奥玉小 閉校
平成 23 年度 石島分校 閉校

■ ピーク時児童生徒数

児童：8,042 人 (S57 年度)
生徒：4,004 人 (S61 年度)
合計：11,575 人 (S57 年度)

■ 令和 2 年度児童生徒数（ピーク比）

児童：2,348 人 (29.2%)
生徒：1,215 人 (30.3%)
合計：3,563 人 (30.8%)

■ 令和 22 年度児童生徒数予測（令和 2 年度比）（ピーク比）

児童：1,378 人 (58.7%) (17.1%)
生徒：840 人 (69.1%) (21.0%)
合計：2,218 人 (62.3%) (19.2%)

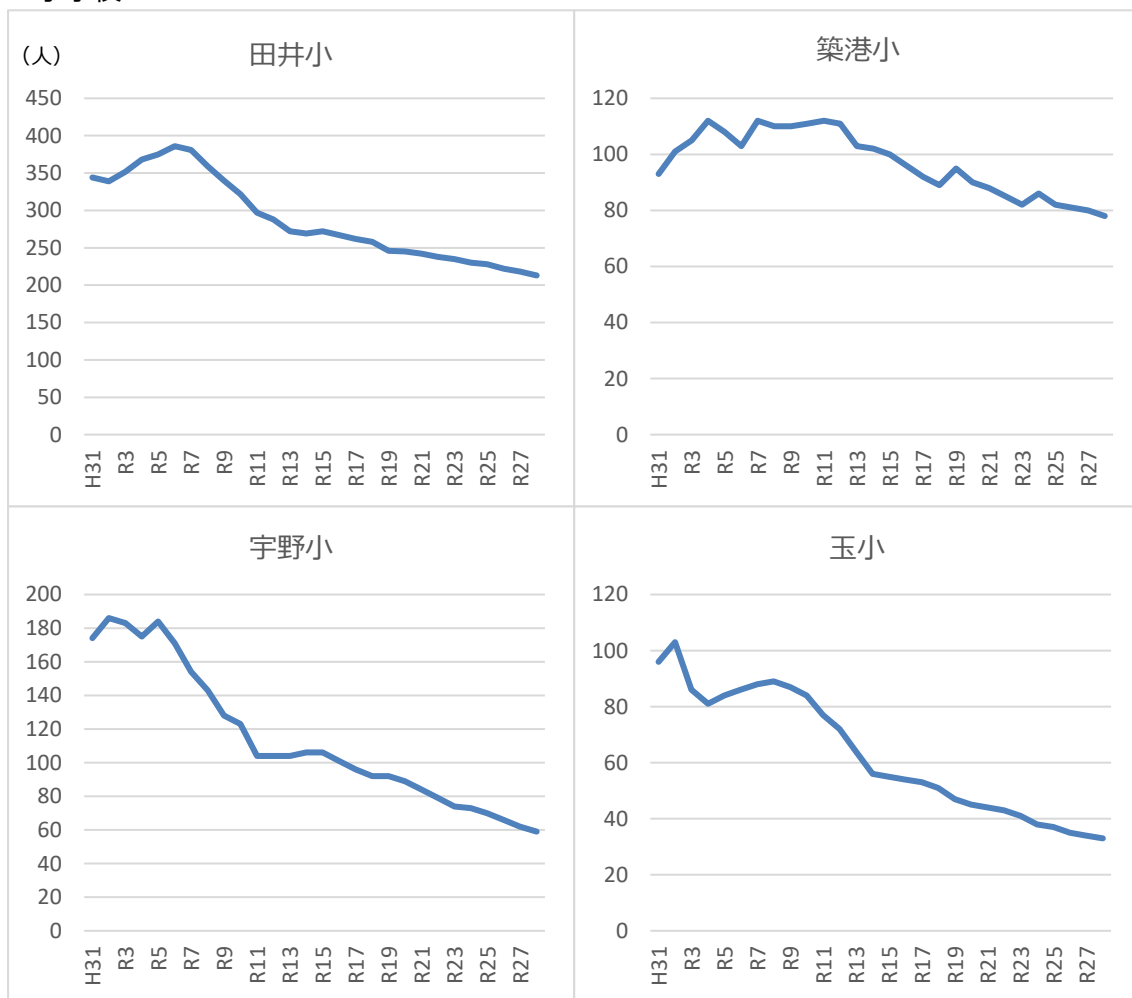
2. 学校別児童生徒数の推計

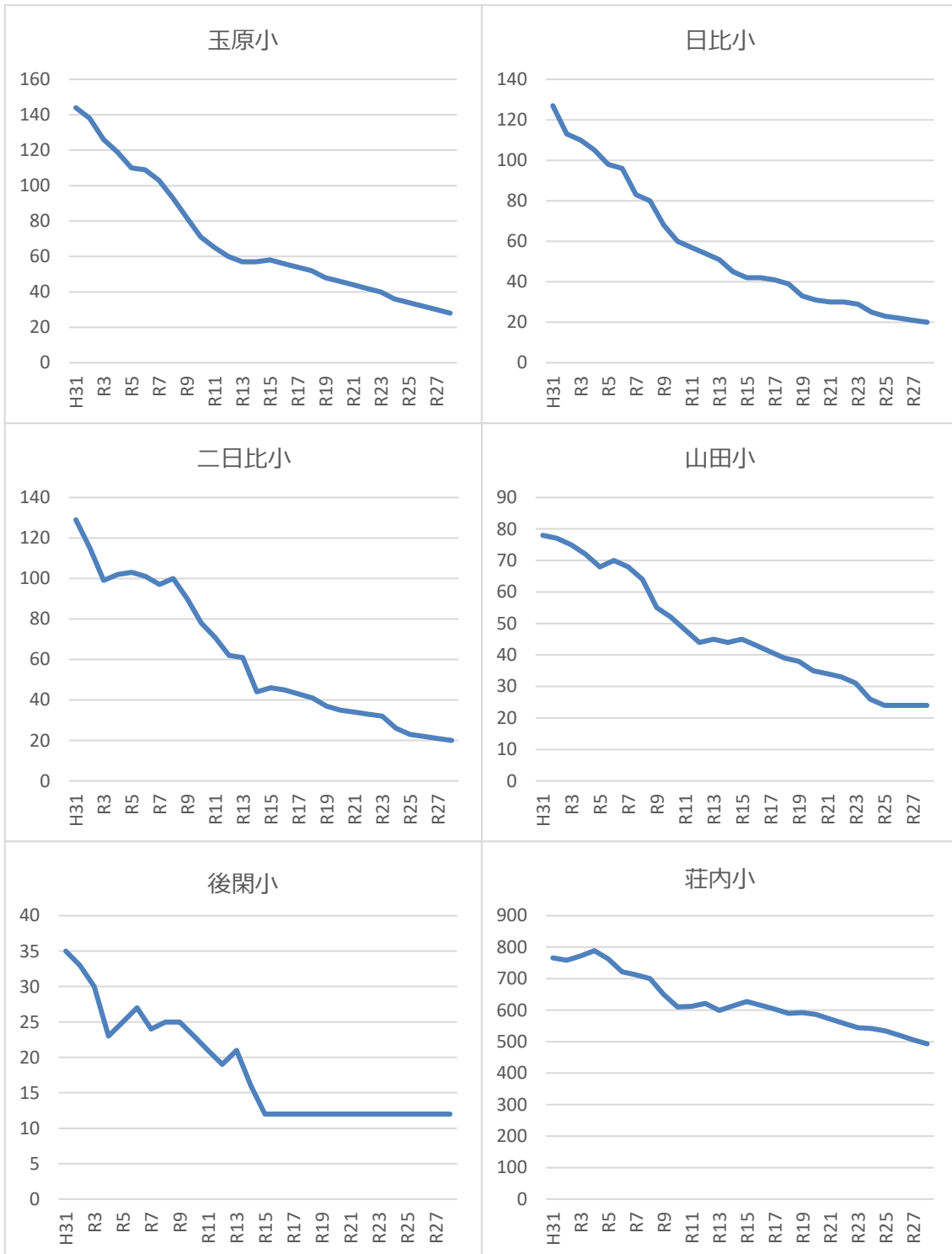
平成 28 年および令和 3 年の住民基本台帳（4 月 1 日現在）に記載されている人口を元に、コーホート変化率法により、現在の小学校区ごとに推計した。

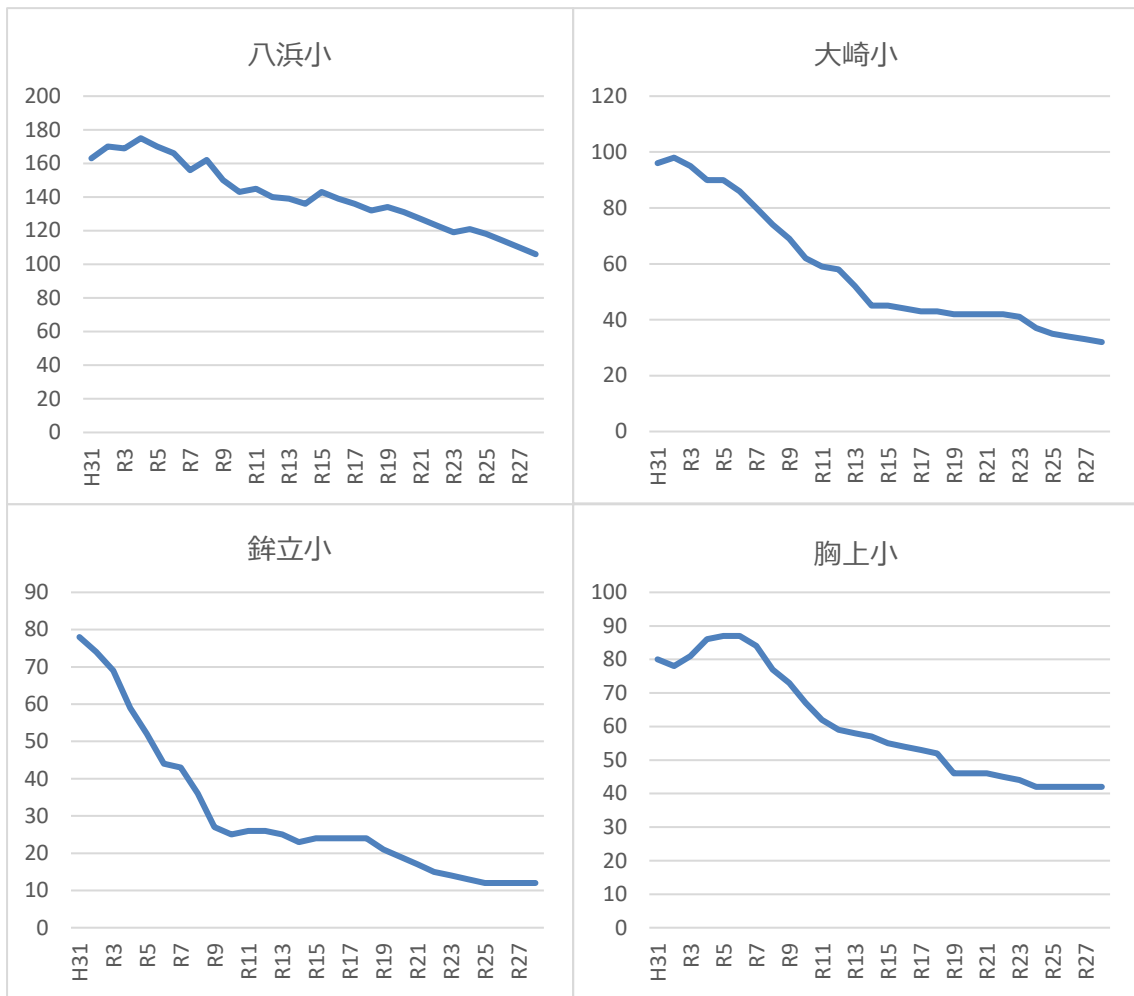
コーホート変化率法は 5 歳ごとの合計人数を 5 年おきに推計する手法であるため、1 歳ごとの人数や中間年の人数は、変化がなだらかなるように傾斜配分した。

なお、学校ごとに縦軸の最大値及び目盛りの間隔が異なるため、比較の際には注意を要する。

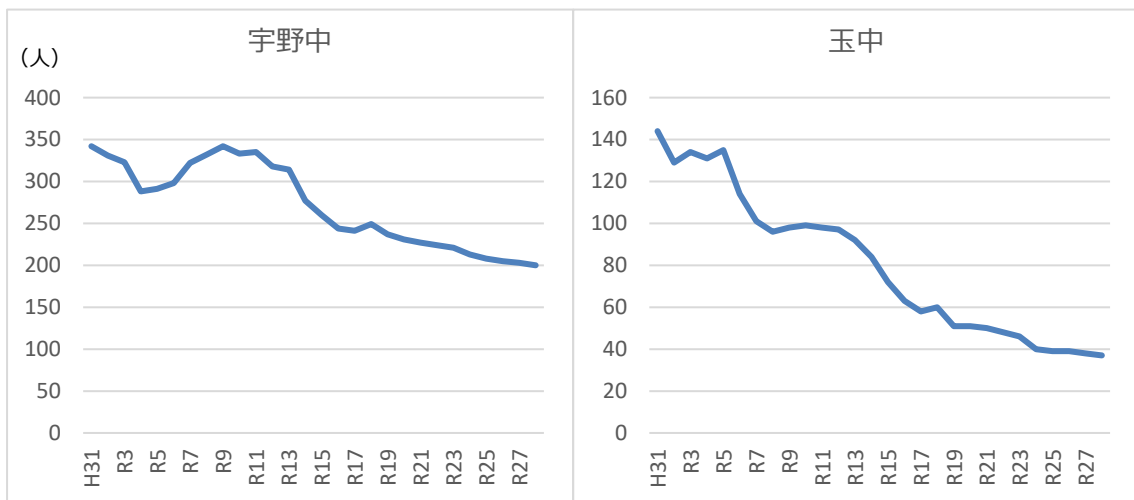
■小学校

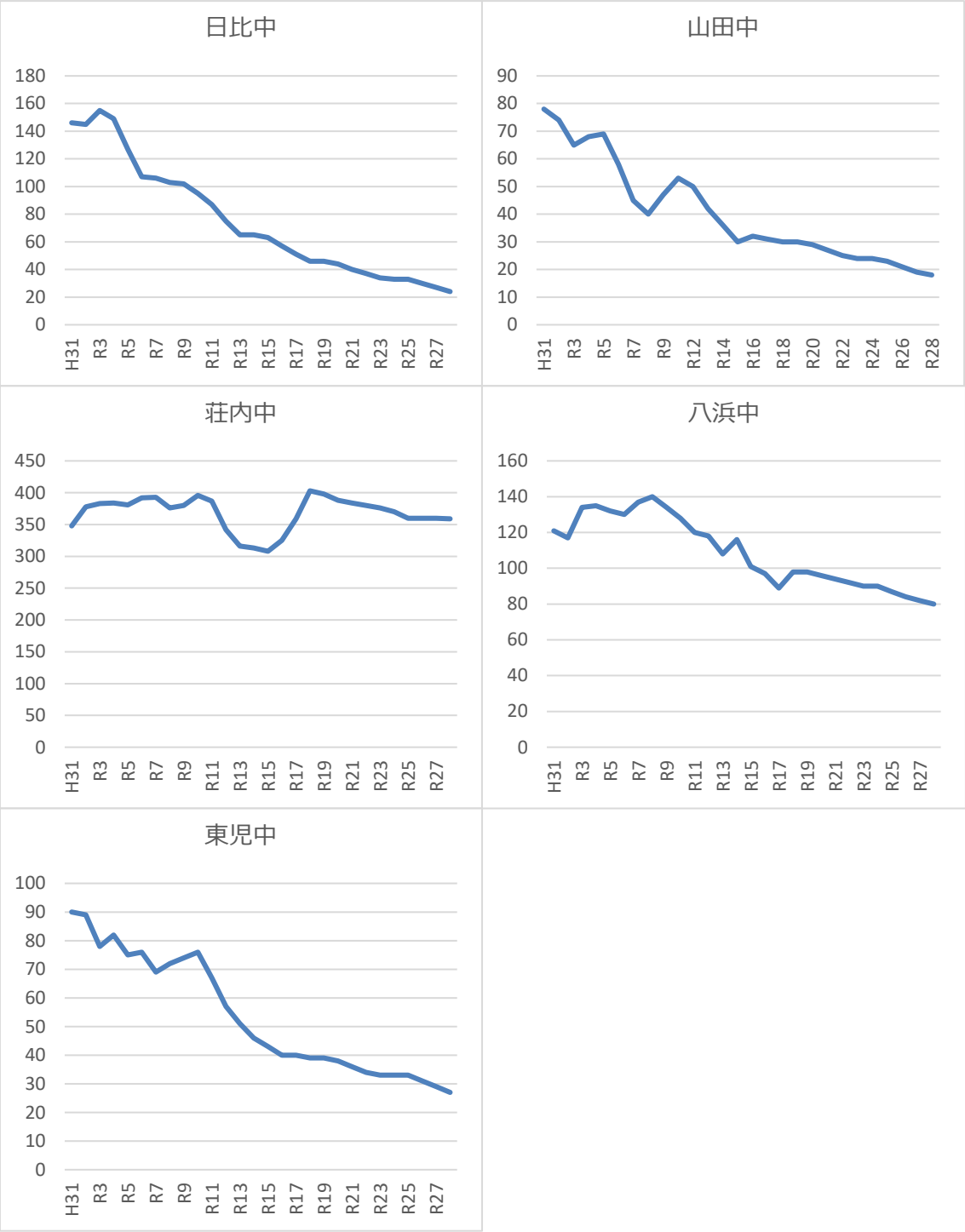






■ 中学校 (R4.6.30 改訂)





3. 施設維持費

「玉野市学校施設の個別施設計画」（R3.3 玉野市教育委員会）の作成に使用した文部科学省提供のエクセルソフトを用いて、次の条件のもと試算した。

《試算条件》

- ・ 小学校、中学校のみを対象とする。
（上記「個別施設計画」の推計には、幼稚園、高等学校が含まれているため比較には注意が必要）
- ・ 学校施設の維持・更新は、「玉野市学校施設の個別施設計画」に定義する長寿命化型の手法（改築周期 80 年、長寿命化改良周期 40 年、大規模改造周期 20 年）とする。
- ・ 統合を想定する学校施設は、竣工からの経過年数によらず、大規模改造や長寿命化改良、改築を実施しない。
- ・ 光熱水費、委託費は、令和 2 年度に要した経費をベースに、統合後の児童生徒数から各校ごとに推定する。将来的な児童生徒数の減少は加味しない。

	現状	A	B	C	D	E
学校数 (校)	21	16	13	11	9	8
	－	-5	-8	-10	-12	-13
対象建物 (棟)	83	63	52	46	38	34
	－	-20	-31	-37	-45	-49
維持費 (※1) (億円/年)	9.29	7.10	5.87	5.67	4.73	4.44
	－	-2.19	-3.42	-3.62	-4.56	-4.85
光熱水・委託費 (※2) (億円/年)	0.80	0.66	0.58	0.51	0.48	0.47
	－	-0.14	-0.22	-0.29	-0.32	-0.33

※ 1 : 今後 40 年間にかかる改築、改修、修繕、光熱水費、委託料等を推計し 1 年あたりに換算したもの

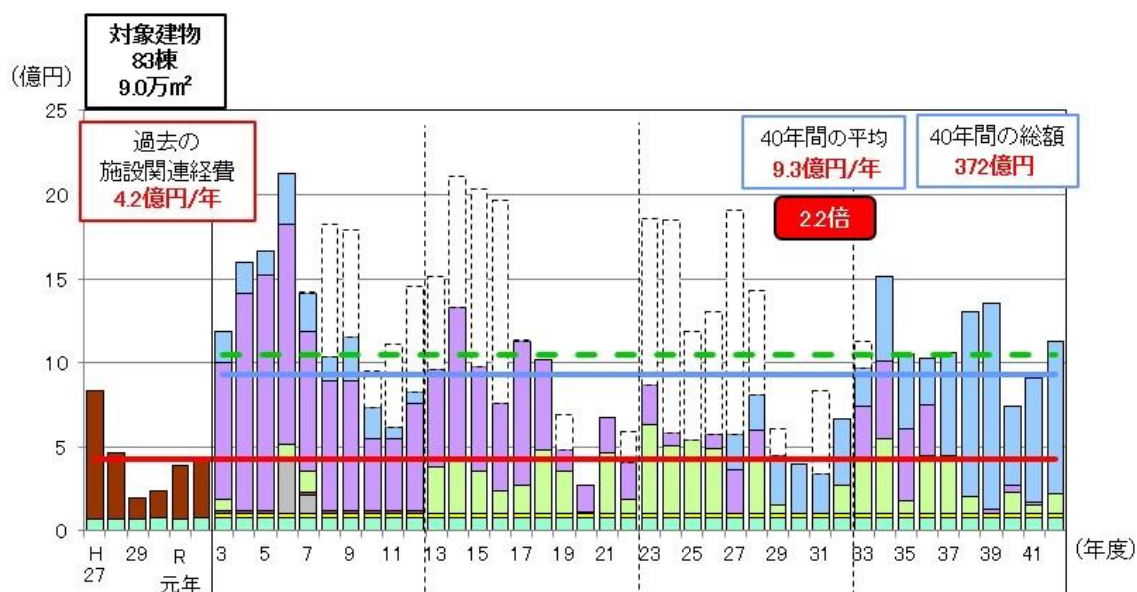
※ 2 : 維持費の内数

(凡例)



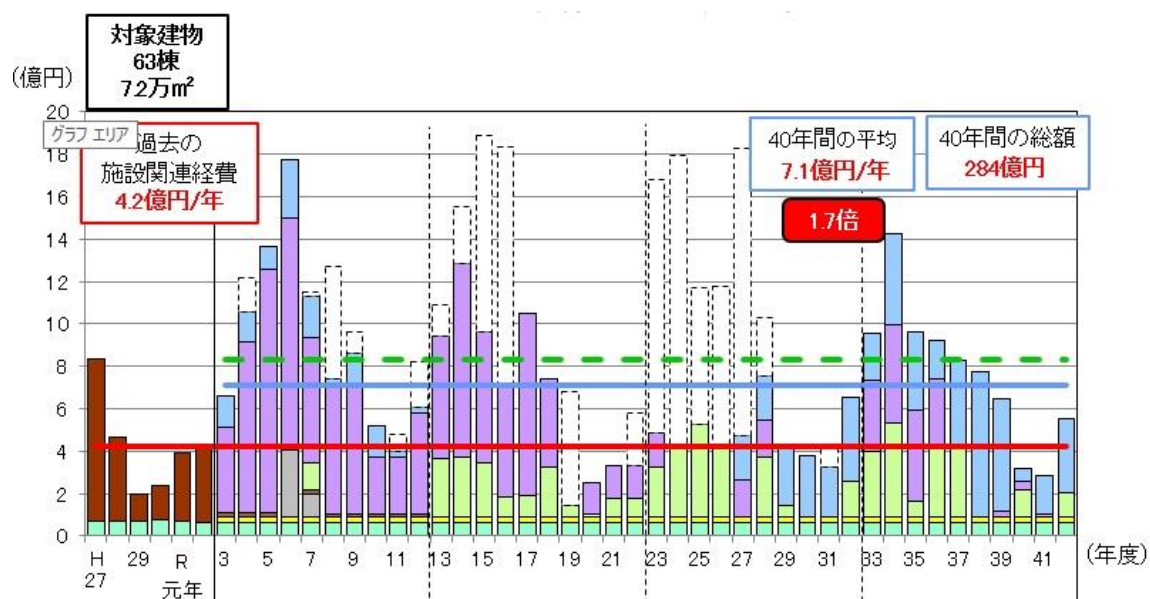
■現状

(小学校：14 中学校：7)



■プランA 当面の複式学級の解消を目的とする

(小学校：9 (-5) 中学校：7 (±0))

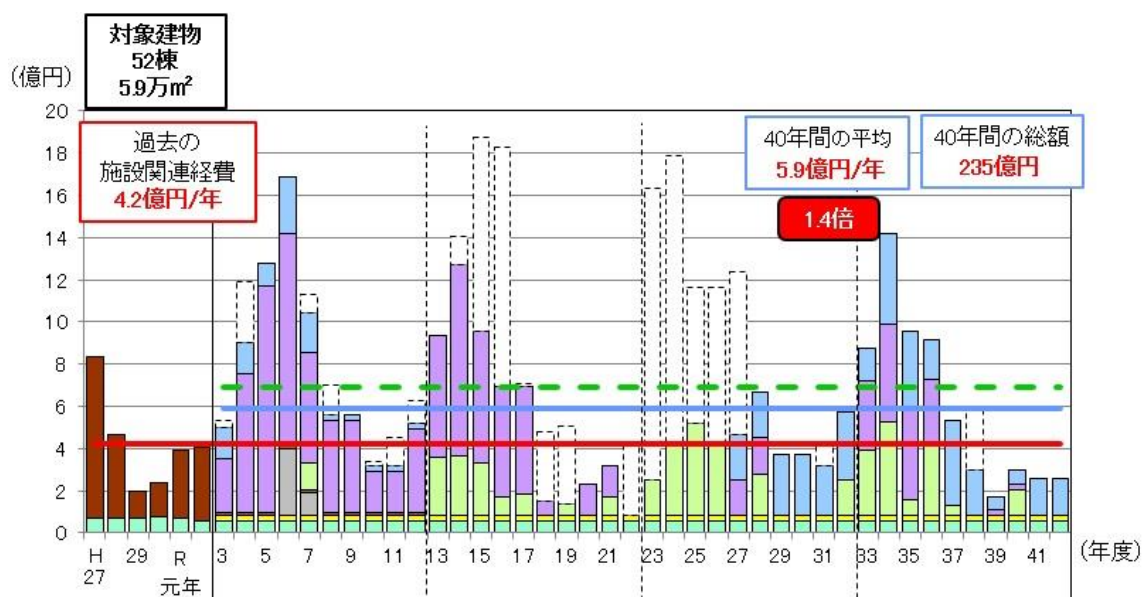


(凡例)



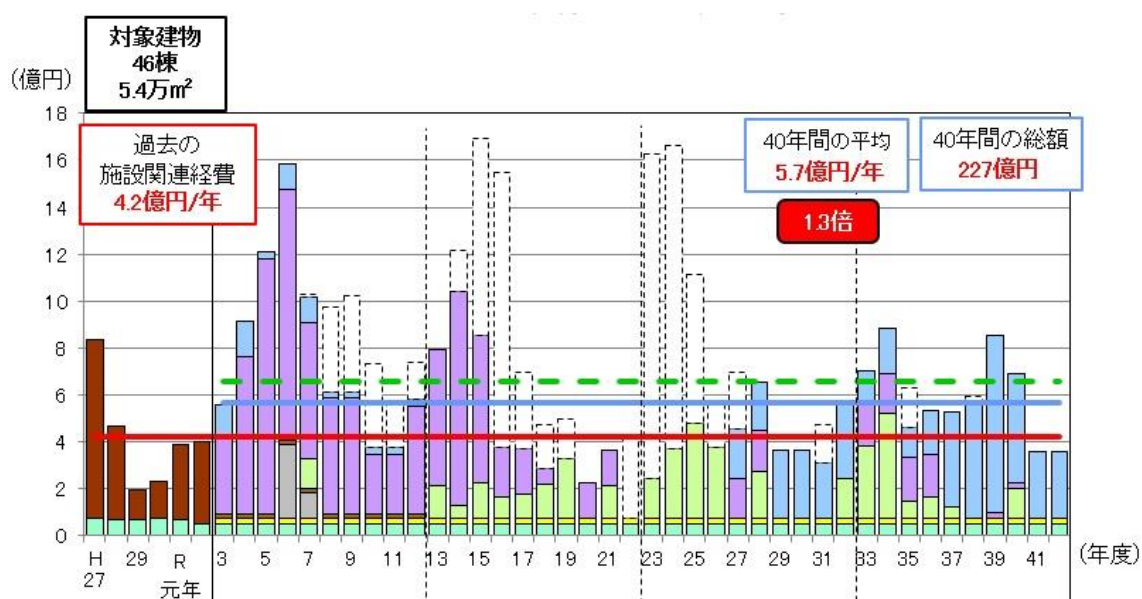
■ **プランB** 通学距離が概ね4km以内(小学校)、6km以内(中学校)となる範囲で最大限集約する

(小学校: 8 (-6) 中学校: 5 (-2))



■ **プランC** 当面の1学年2クラス達成を目指す

(小学校: 6 (-8) 中学校: 5 (-2))

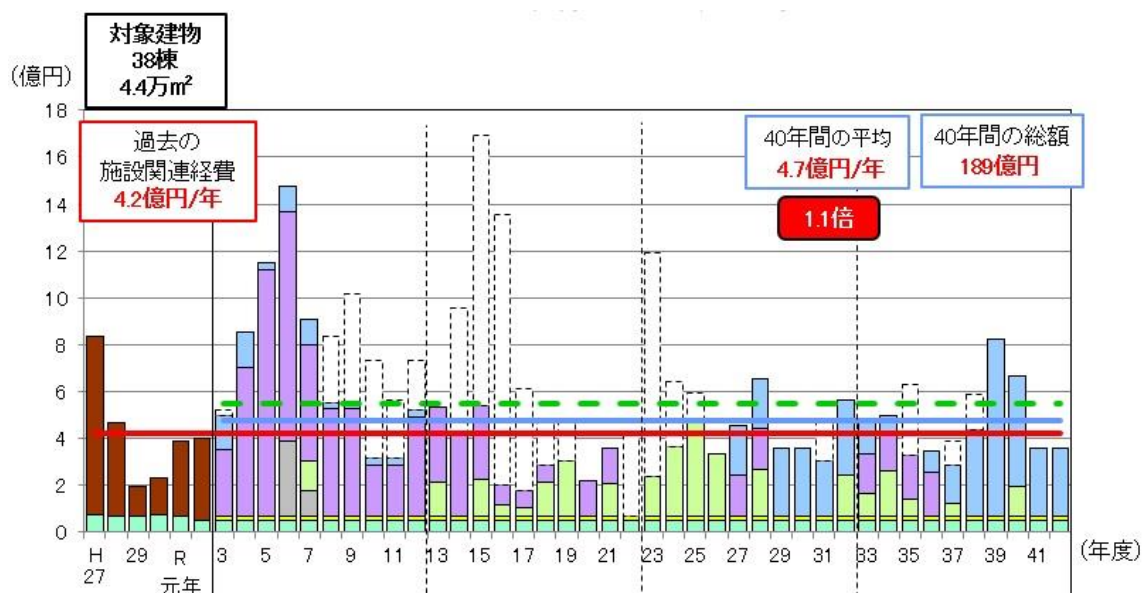


(凡例)



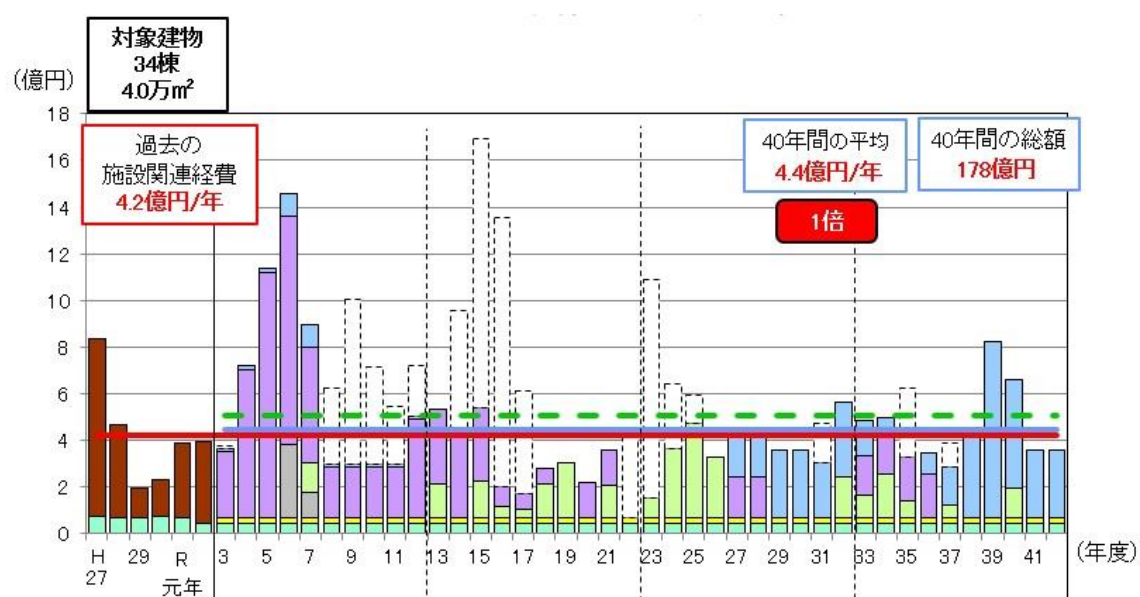
■プランD 将来にわたっての1学年2クラス達成(中学校)を目指す

(小学校: 6 (-8) 中学校: 3 (-4))



■プランE 地域性を考慮しつつ、最大限集約する

(小学校: 6 (-8) 中学校: 2 (-5))



4. 通学補助

次の条件のもと試算した。

《試算条件》

- ・通学距離（道のり）4 km 以上の児童及び6 km 以上の生徒を対象とする。
- ・対象者数は、令和2年度出生者が就学年齢に達する令和9年度時点の人数とし、住民基本台帳の地区別人数から引用した。
- ・対象エリアが「後閑バス停以西」などの場合、航空写真から推定される住宅の分布割合を、地区別の人数に乗じて算出した。
- ・スクールバスは業務委託を想定し、1台あたりの経費を700万円/年と仮定した。
- ・シートク（表中「T」）は児童の利用料金の全額を計上した。

■小学校（令和9年度時点）

	統合元→先	4km 以上エリア	人数	推計根拠	台数	経費	A	B	C	D	E
①	築港→宇野	なし	0		0	0		○	○	○	○
②	玉原→玉	なし	0		0	0	○	○			
③	玉→玉原	玉3の一部	0	住居なし	0	0			○	○	○
④	日比→玉原	なし	0		0	0			○	○	○
⑤	二日比→玉原	渋川全域 深井町の一部 向日比2の一部	16	渋川以外該当地域 に住居なし	1	700			○	○	○
⑥	二日比→日比	渋川4	0	住居なし	0	0	○	○			
⑦	大崎→八浜	JR 八浜駅以西	22	大崎 30% 南七区 60%	1	700	○	○	○	○	○
⑧	後閑→山田	大藪バス停以西	0	大藪	0	0	○	○			
⑨	後閑→胸上	後閑バス停以西	22	後閑 90% 大藪	1	700			○	○	○
⑩	山田→胸上	なし	0		0	0			○	○	○
⑪	鉾立→胸上	番田バス停以北の海岸線地域	5	番田 30%	T1	40	○	○	○	○	○

	A	B	C	D	E
対象者数(人)	27	27	65	65	65
バス台数(台)	1	1	3	3	3
経費(万円)	740	740	2,140	2,140	2,140

■中学校（令和9年度時点）

	統合元→先	6 km 以上エリア	人数	推計根拠	台数	経費	A	B	C	D	E
①	玉 →日比	なし	0		0	0		○	○		
②	玉 →宇野	長尾 1609 の一部 玉原企業団地	0	超過が最大で約 100m のためゼ ロとする	0	0				○	○
③	日比→宇野	日比（1の一部を除く） 渋川 二日比小南壁以南 御崎公園以南・以東	35	二日比小学区から 明神町 50% 御崎 2 の 30% 羽根崎町を除く	1	700				○	○
④	八浜→東児	学区全域	134	峠を考慮し全域	4	2,800				○	
⑤	八浜→荘内	大崎八幡宮以東	92	八浜 東七区 50% 大崎 10%	3	2,100					○
⑥	山田→東児	後閑バス停以西	17	後閑 90% 大藪	1	700		○	○	○	
⑦	山田→宇野	後閑バス停以東	43	山田 沼 後閑 60%	2	1,400					○
⑧	東児→宇野	学区全域	74		3	2,100					○

	A	B	C	D	E
対象者数(人)	0	17	17	186	244
バス台数(台)	0	1	1	6	9
経費(万円)	0	700	700	4,200	6,300

■小中学校計

	A	B	C	D	E
対象者数(人)	27	44	82	251	309
バス台数(台)	1	2	4	9	12
経費(万円)	740	1,440	2,840	6,340	8,440

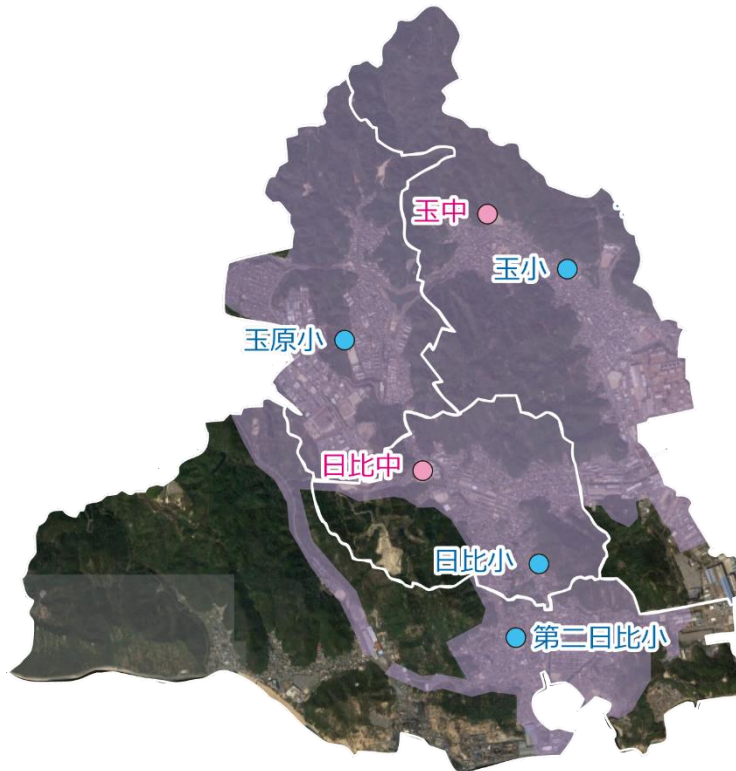
■ 小学校 4 km 以上エリア（将来的な区分けを確定するものではありません）

※ この項の画像はグーグルマップの航空写真を利用しています

Google 画像©2022 CNES/Airbus、Digital Earth Technology、Maxar Technologies、地図データ©2022 日本

③ 玉→玉原（玉 3 の一部）

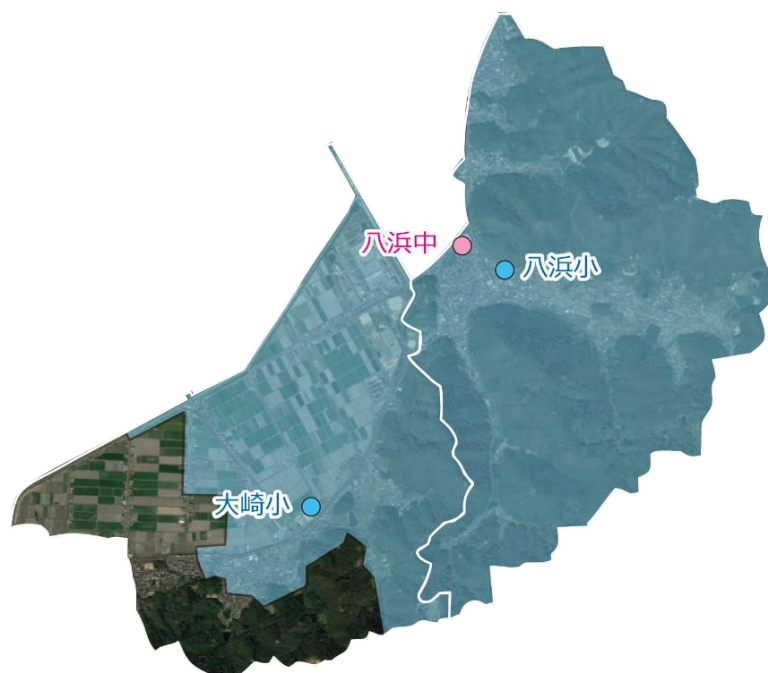
⑤ 二日比→玉原（渋川全域、深井町の一部、向日比 2 の一部）



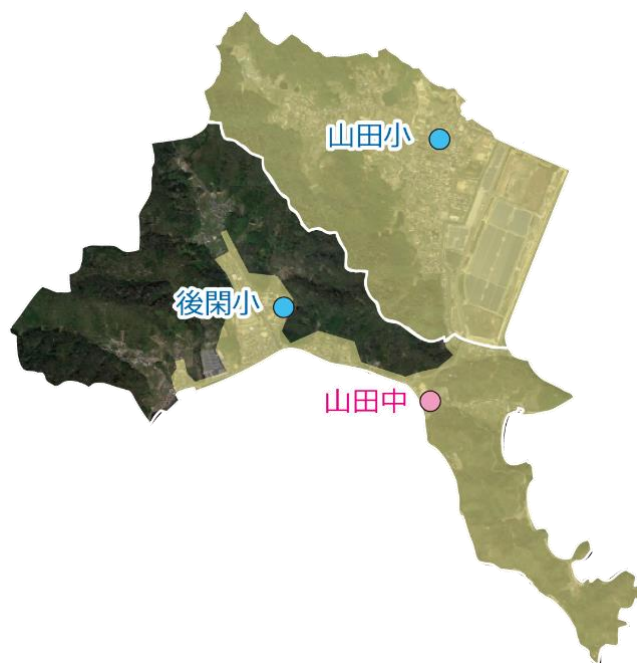
⑥ 二日比→日比（渋川 4）



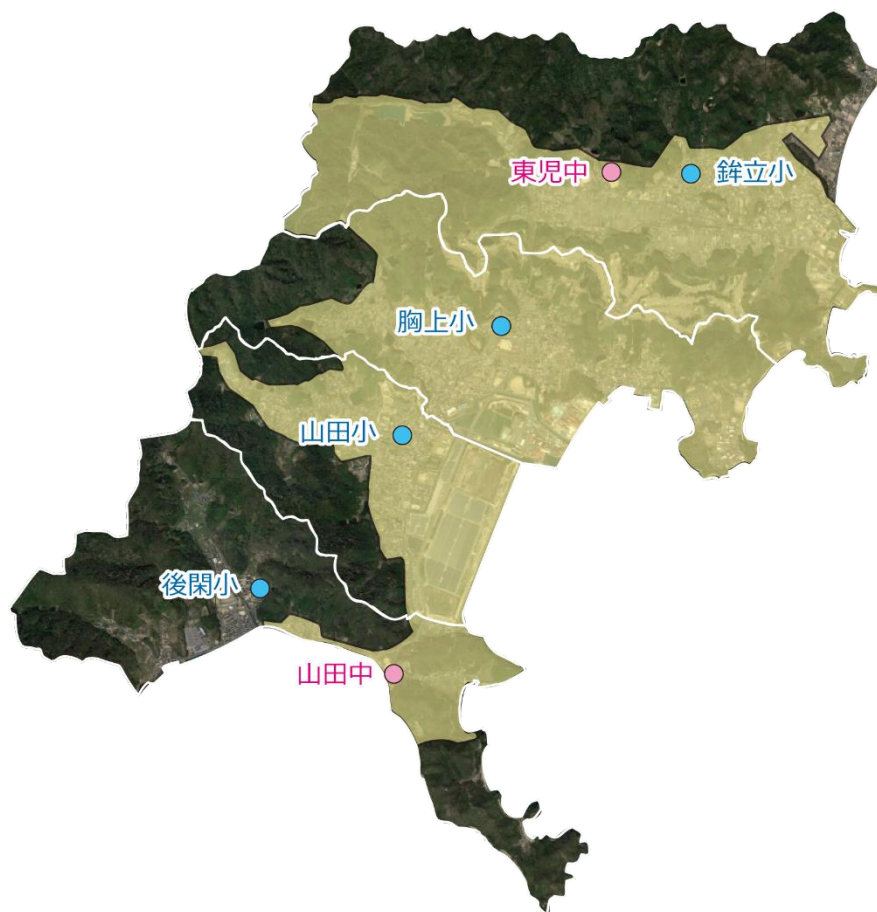
⑦ 大崎→八浜（JR 八浜駅以西）



⑧ 後閑→山田（大藪バス停以西）



- ⑨ 後閑→胸上（後閑バス停以西）
⑪ 鉾立→胸上（番田バス停以北の海岸線地域）

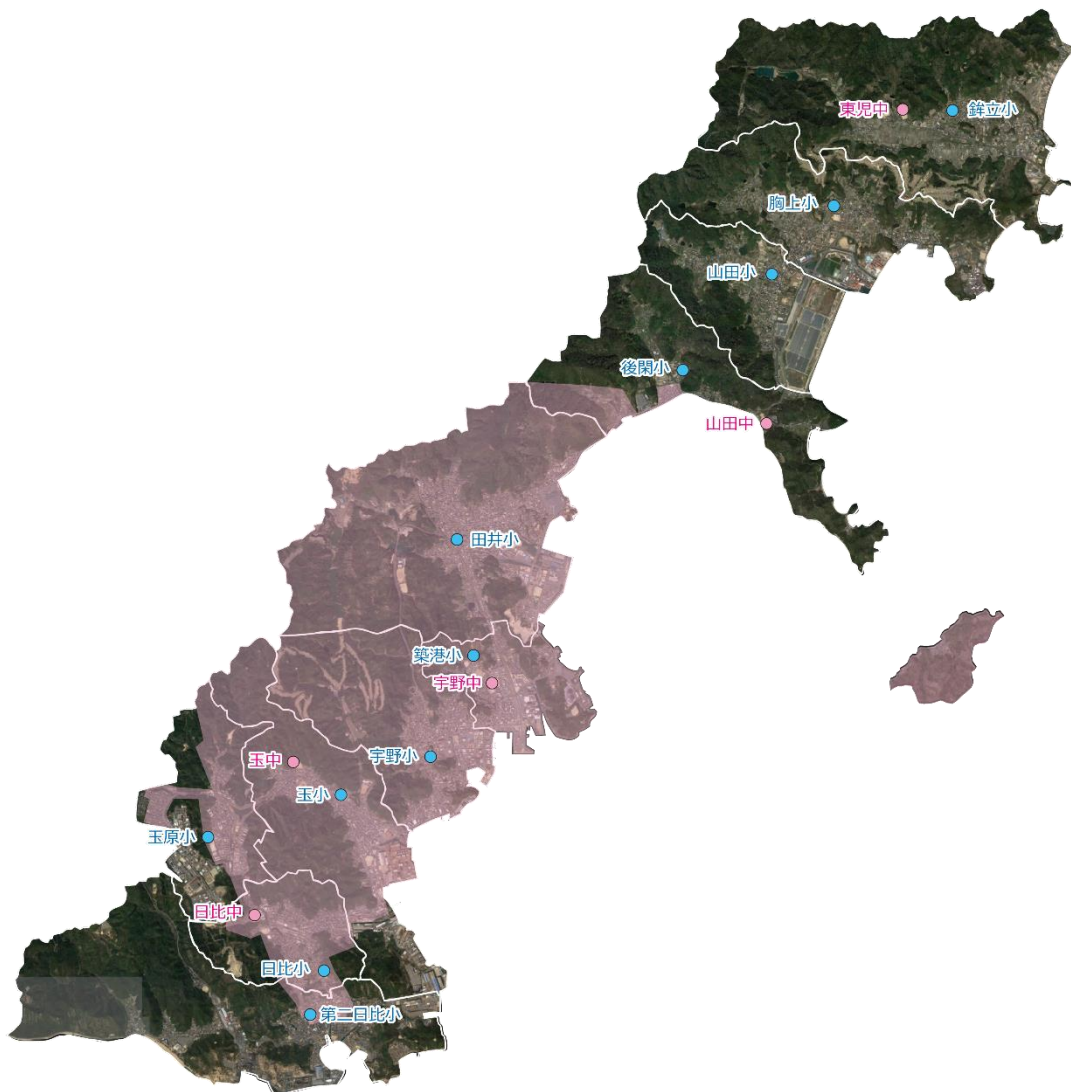


■ 中学校 6 km 以上エリア

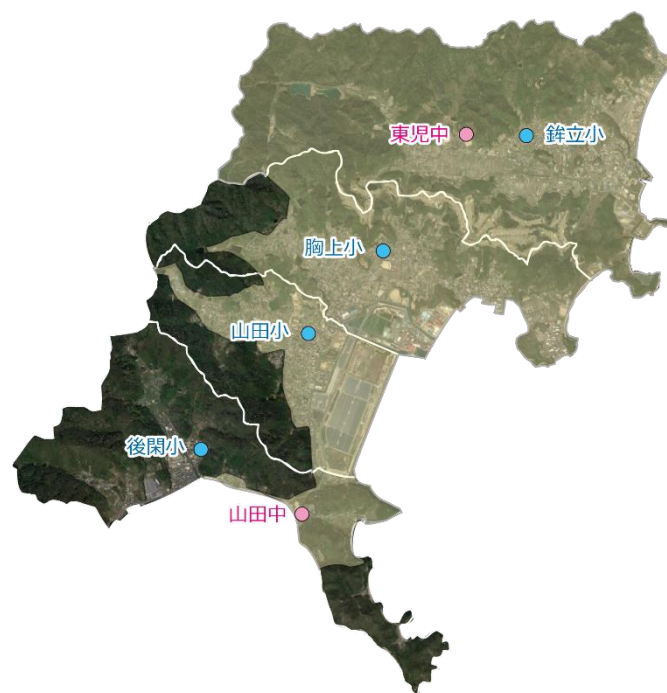
※ この項の画像はグーグルマップの航空写真を利用しています

Google 画像©2022 CNES/Airbus、Digital Earth Technology、Maxar Technologies、地図データ©2022 日本

- ② 玉→宇野（長尾 1609 の一部、玉原企業団地）
- ③ 日比→宇野（日比（1 の一部を除く）、渋川、二日比小外周以南、御崎公園以南・以東）
- ⑦ 山田→宇野（後閑バス停以東）
- ⑧ 東児→宇野（全域）



- ④ 八浜→東児（八浜中学区全域）
- ⑥ 山田→東児（後閑バス停以西）



- ⑤ 八浜→荘内（大崎八幡宮以東）

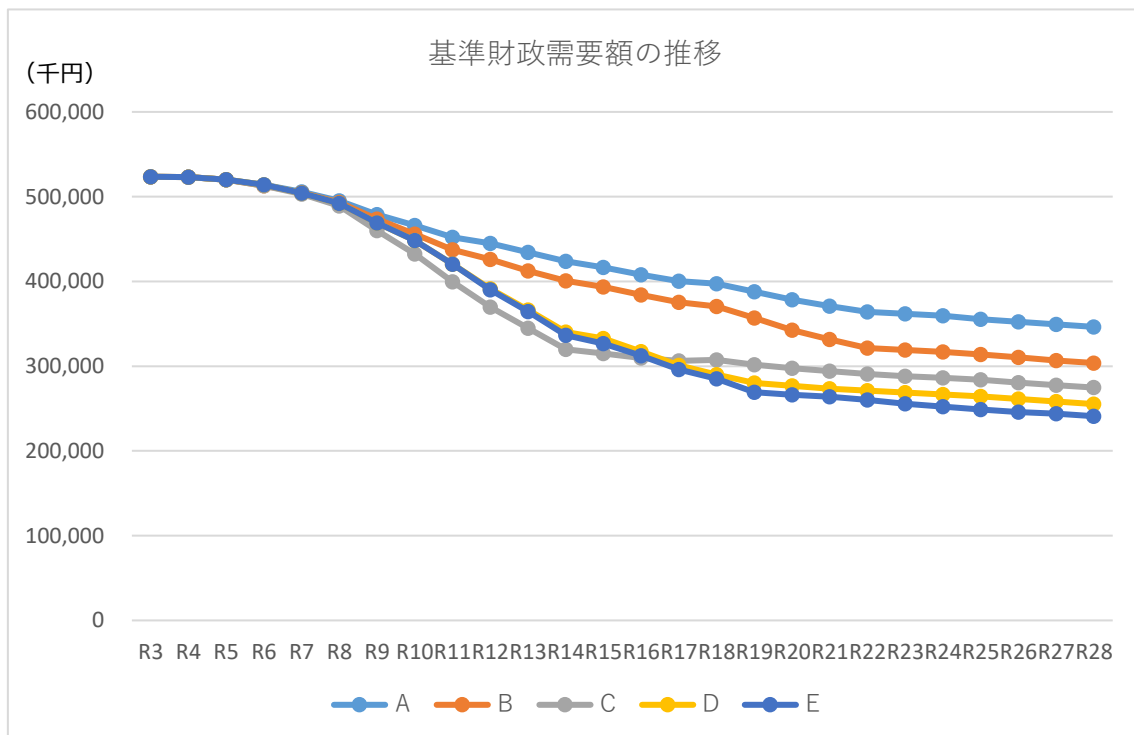


5. 基準財政需要額

算定方法は「令和3年度普通交付税算出資料」に準じ、次の条件のもと試算した。

《試算条件》

- ・ 本試算に適用する児童数(生徒数)は、住基ベースによる予測値とする。
 - ・ 校舎の解体に係る普通交付税措置額は加味しない。
 - ・ 各測定単位において補正に用いる基礎数値、係数は以下のとおりとする
- 児童生徒数
- ① 密度補正Ⅰ = 0
 - ② 密度補正Ⅱ：完全給食等実施数 = 児童数(生徒数)、他基礎数値はR3と同じとする
- 学級数
- ① 態容補正 = 1(無級地)
 - ② 寒冷補正 = 1
 - ③ 事業費補正 = 0 (今後の学校整備計画の詳細が未定であることから、事業費補正による増額を加味しない。)
 - ④ 数値急減補正：算定
- 学校数
- ① 数値急減補正：算定



【改訂履歴】

- R4.6.30 資料編「2.学校別児童生徒数の推計」■中学校
各校の生徒数のグラフに採用する数値（R17 年度まで）を、推計値から住民基本台帳ベースの人数に修正（p9 の表と整合させた）